



トラブルシューティング ガイド

hpワークステーションxw4000
hpワークステーションxw6000

製品番号 : 301545-291

2002年10月

このガイドでは、各製品のトラブルシューティングに役立つヒントと解決方法について説明します。また、ハードウェアとソフトウェアで発生する可能性のあるトラブルについても説明します。

© 2002 Hewlett-Packard Company
© 2002 日本ヒューレット・パッカード株式会社

Microsoft、MS-DOS、Windows、およびWindows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、また本書の適用の結果生じた間接損害を含めいかなる損害についても、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、現状有姿のまま提供されるもので、商品性または特定目的への適合性に関する黙示の保証などを含むいかなる保証も含みません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品に対する保証は、当該製品に付属の限定的保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。

本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、Hewlett-Packard Companyの書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。



警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。



注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

トラブルシューティング ガイド
hpワークステーションxw4000
hpワークステーションxw6000
初版 2002年10月
製品番号：301545-291

日本ヒューレット・パッカード株式会社

目次

1 コンピュータの診断機能

[Diagnostics for Windows]ユーティリティ	1-1
[Diagnostics for Windows]がインストールされているかどうかの確認	1-2
[Diagnostics for Windows]ユーティリティのインストール	1-2
[Diagnostics for Windows]ユーティリティのカテゴリの使用	1-4
[Diagnostics for Windows]ユーティリティでの診断テストの実行	1-7
[Configuration Record]ユーティリティ	1-9
[Configuration Record]ユーティリティのインストール	1-10
[Configuration Record]ユーティリティの実行	1-10
[Remote Diagnostics Enabling Agent]ユーティリティ	1-11
[Remote Diagnostics Enabling Agent]ユーティリティのインストールまたは更新	1-12
[Remote Diagnostics Enabling Agent]ユーティリティの実行	1-12
ソフトウェアの保護	1-13
ソフトウェアの復元	1-13

2 診断ユーティリティを使用しないトラブルシューティング

問題解決のヒント	2-2
一般的なトラブルの解決方法	2-3
電源に関するトラブルの解決方法	2-6
ディスク ドライブに関するトラブルの解決方法	2-8
ハードディスク ドライブに関するトラブルの解決方法	2-11
モニタに関するトラブルの解決方法	2-14
オーディオに関するトラブルの解決方法	2-16
プリンタに関するトラブルの解決方法	2-18
キーボードとマウスに関するトラブルの解決方法	2-19
ハードウェアの取り付けに関するトラブルの解決方法	2-21
ネットワークに関するトラブルの解決方法	2-23
プロセッサに関するトラブルの解決方法	2-25
メモリに関するトラブルの解決方法	2-26
SCSIデバイスに関するトラブルの解決方法	2-28
CD-ROMおよびDVDドライブに関するトラブルの解決方法	2-29
ソフトウェアに関するトラブルの解決方法	2-31
カスタマ サポートのご利用について	2-32

A	POSTエラー メッセージ	
	POST時の数値コードおよびテキスト メッセージ	A-1
	POST時のキーボードやフロント パネルのランプおよびビープ音の診断	A-12
B	パスワードのセキュリティおよびCMOSの再設定	
	パスワード ジャンパの再設定	B-2
	CMOSの消去と再設定	B-4
	CMOSボタンの操作手順	B-4
	コンピュータ セットアップ ユーティリティを使用したCMOSの再設定	B-6
C	ドライブ保護システム (DPS)	
	[Diagnosics for Windows]ユーティリティからDPSにアクセスする	C-2
	コンピュータ セットアップ ユーティリティからDPSにアクセスする	C-3
D	アナログ/デジタル オーディオ出力の設定	
	Microsoft Windows 2000をお使いの場合	D-1
	Microsoft Windows NT 4.0をお使いの場合	D-2
	Microsoft Windows XPをお使いの場合	D-2
E	Windows NTインストール用のSCSIドライバのインストール	

索引

コンピュータの診断機能

[Diagnostics for Windows]ユーティリティ

[Diagnostics for Windows]ユーティリティは、インテリジェント マネジメント機能のひとつです。Microsoft® Windows® (Microsoft Windows 2000、Microsoft Windows NT® 4.0、およびMicrosoft Windows XP) の実行中にこのユーティリティを使用すると、お使いのコンピュータのハードウェアおよびソフトウェアのコンフィギュレーション情報を表示することができます。また、コンピュータのサブシステムにハードウェアおよびソフトウェアのテストを実行することができます。

[Diagnostics for Windows]ユーティリティを実行すると、コンピュータの現在のコンフィギュレーションを示す[概要]画面が表示されます。この[概要]画面から、コンピュータについてのいくつかの情報カテゴリと、[テスト]タブにアクセスすることができます。各画面に表示された情報は、ファイルに保存したり、印刷したりすることができます。



すべてのサブシステムをテストする場合は、管理者としてログインする必要があります。管理者としてログインしなかった場合は、テストできないサブシステムがあります。サブシステムをテストできない場合は、[テスト]ウィンドウ内で該当のサブシステム名の下にエラー メッセージが表示されるか、選択できない影付きのチェック ボックスが表示されます。

[Diagnostics for Windows]がインストールされているかどうかの確認

お使いのコンピュータには、出荷時に[Diagnostics for Windows]があらかじめロードされていますが、インストールはされていません。ユーザ自身が[Diagnostics for Windows]を他のユーティリティとともにインストールしたか、または他のユーザがインストールしている場合があります。

[Diagnostics for Windows]がインストールされているかどうかを確認するには、以下の手順に従います。

1. 次のようにして、[Diagnostics for Windows]アイコンにアクセスします。
 - ❑ Windows 2000 Professionalをお使いの場合 : [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の順に選択します。
 - ❑ Windows XP HomeまたはWindows XP Professionalをお使いの場合 : [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]の順に選択します。
2. 表示されたアイコンを確認します。
 - ❑ [Configuration Record]アイコンと[Diagnostics for Windows]アイコンが表示されている場合は、[Diagnostics for Windows]ユーティリティはインストールされています。
 - ❑ [Configuration Record]アイコンと[Diagnostics for Windows]アイコンが表示されていない場合は、[Diagnostics for Windows]ユーティリティはロードされていますがインストールされていません。

[Diagnostics for Windows]ユーティリティのインストール

[Diagnostics for Windows]ユーティリティがハードディスク ドライブにロードされていてもまだインストールされていない場合は、以下の手順に従って操作してください。

1. すべてのWindowsアプリケーションを終了します。
2. [Diagnostics for Windows]ユーティリティをインストールするには、以下の手順に従います。
 - ❑ Windows XP Professionalをお使いの場合 : [スタート]→[Setup Software] (ソフトウェアのセットアップ) アイコンの順に選択します。[Diagnostics for Windows]→[次へ]ボタンの順に選択し、画面の指示に従います。

- Windows 2000 ProfessionalまたはWindows XP Homeをお使いの場合 :

- ◆ デスクトップに[Setup Software]アイコンが表示される場合は、このアイコンをダブルクリックし、[Diagnostics for Windows]→[次へ]ボタンの順に選択し、画面の指示に従います。
- ◆ [Setup Software] アイコンがデスクトップに表示されない場合は、[スタート]→[ファイル名を指定して実行]の順に選択します。

Windows 2000 Professionalをお使いの場合 : 入力フィールドに次のように入力します。

c:\cpqapps\setup.exe preload /s

[Setup Software]アイコンがデスクトップに表示されます。

Windows XP Homeをお使いの場合 : 入力フィールドに次のように入力します。

C:\CPQAPPS SETUP.EXE PRELOAD programs /S

[Setup Software]アイコンが[すべてのプログラム]に表示されます。セットアップ アイコンにアクセスするには、[スタート]→[すべてのプログラム]の順に選択します。

3. [次へ]をクリックして[Diagnostics for Windows]ユーティリティのインストールを開始します。
4. インストールが終了すると、システムの再起動を促すメッセージが表示されるか、システムが自動的に再起動されます。メッセージが表示されたら、[終了]または[完了]をクリックしてシステムを再起動するか、[キャンセル]をクリックしてインストールプログラムを終了します。[Diagnostics for Windows]ユーティリティのインストールを完了するには、システムを再起動する必要があります。



お使いのコンピュータにインストール済みの[**Diagnostics for Windows**]ユーティリティをアップグレードする場合は、<http://www.compaq.co.jp/support/>にアクセスして、目的の製品をクリックし、ダウンロードをクリックします。次のウィンドウの「オプション2: カテゴリ別検索」の欄でお使いのオペレーティング システムと[**マネジメントおよびシステム ソフトウェア**]を選択します。「ソフトウェアの検索」をクリックし、最新のバージョンをダウンロードします。ダウンロードしたファイルを実行して、[**修正**]または[**更新**]を選択し、インストール済みのバージョンを更新します。これによって、旧バージョンに新バージョンが上書きされます。

[Diagnostics for Windows]ユーティリティのカテゴリの使用

次の手順で、カテゴリを使用します。

1. [スタート]→[Compaqインフォメーションセンター]→[Diagnostics for Windows]の順にクリックします。または、[コントロール パネル]で[Diagnostics for Windows]アイコンを選択することもできます。
ハードウェアとソフトウェアの概要が画面に表示されます。
 - ❑ Windows 2000 Professionalをお使いの場合 : [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[Diagnostics for Windows]の順に選択します。
 - ❑ Windows XPをお使いの場合 : [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[Diagnostics for Windows]の順に選択します。
2. 特定のハードウェアまたはソフトウェアに関する情報を調べる場合は、[カテゴリ]プルダウン メニューから目的のカテゴリを選択するか、ツールバー上の該当するアイコンをクリックします。



ツールバーのアイコン上にポインタを合わせると、そのアイコンのカテゴリ名が表示されます。

3. 選択したカテゴリに関してさらに詳しい情報を調べる場合は、ウィンドウの左下隅にある[インフォメーション レベル]ボックスの[詳細]をクリックします。または、画面の一番上にある[レベル]をクリックし、[詳細]を選択します。
4. この情報を確認し、必要に応じて印刷したり保存したりします。



表示されている情報を印刷する場合は、[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。[詳細情報レポート（全カテゴリ）]、[基本情報レポート（全カテゴリ）]、または[現在のカテゴリ]の中から1つを選択し、[OK]をクリックして、目的のレポートを印刷します。



表示されている情報を保存する場合は、[ファイル]メニューから[名前を付けて保存]を選択します。[詳細情報レポート（全カテゴリ）]、[基本情報レポート（全カテゴリ）]、または[現在のカテゴリ]の中から1つを選択します。[OK]をクリックして、目的のレポートを保存します。

5. [ファイル]メニューから[終了]を選択して[Diagnostics for Windows]ユーティリティを終了します。

メニューバー：ファイル、カテゴリ、ナビゲーション、レベル、タブ、ヘルプ

[Diagnostics for Windows]ユーティリティ画面の一番上には、次の6つのプルダウンメニューから成るメニューバーが表示されます。

- ファイル：[名前を付けて保存]、[印刷]、[プリンタの設定]、[終了]
- カテゴリ：次のセクションのカテゴリの一覧を参照
- ナビゲーション：[前のカテゴリ（F5）]、[次のカテゴリ（F6）]
- レベル（画面上の情報量）：[基本（F7）]、[詳細（F8）]
- タブ：[概要]、[テスト]、[ステータス]、[ログ]、[エラー]
- ヘルプ：[目次]、[ヘルプの使い方]、[バージョン情報]

ツールバー：各情報カテゴリを示すアイコン

メニューバーの下に、コンピュータの以下の情報カテゴリに対応するアイコンの列が表示されます。

- システム：システムボード、ROM、日付および時刻の情報
- 資産管理：資産タグ、システムのシリアル番号、およびプロセッサの情報
- 入力装置：キーボード、マウス、およびジョイスティックの情報
- 通信：システム内のポートと各ポートの情報
- 記憶装置：システム内の記憶装置と各装置の情報
- ビデオ：グラフィックスシステムの情報

- メモリ：システム ボードおよびWindowsのメモリ情報
- マルチメディア：オプティカル記憶装置（CD、DVD など）とオーディオ装置の情報
- Windows：Windowsの情報
- システム アーキテクチャ：PCIデバイスの情報
- リソース：IRQ、I/O、およびメモリ マップの情報
- システム ヘルス：システムの温度とハードディスク ドライブのステータス
- その他：CMOS、DMI、BIOS、システム、製品名、およびシリアル番号

タブ：概要、テスト、ステータス、ログ、エラー

ツールバーの下に、次の5つのタブが表示されます。

- 概要：[概要] ウィンドウに、コンピュータについての全般的な情報が表示されます。ユーティリティを開始したときに、このウィンドウが最初に表示されます。ウィンドウの左側にはハードウェア情報、右側にはソフトウェア情報が表示されます。
- テスト：[テスト] ウィンドウを使用して、システム内のテストする部分を選択することができます。また、テストのタイプとテスト モードも選択できます。
- ステータス：[ステータス] ウィンドウに、現在進行中のテストのステータスが表示されます。[テスト キャンセル] ボタンをクリックしてテストを中止することもできます。
- ログ：[ログ] ウィンドウに、各デバイスのテストのログが表示されます。
- エラー：[エラー] ウィンドウに、デバイスのテスト中に発生したエラーが表示されます。テストされたデバイス、エラーのタイプとエラーの数、およびエラー コードが一覧表示されます。

[Diagnostics for Windows]ユーティリティでの診断テストの実行

次の手順で、診断テストを実行します。

1. [スタート]→[Compaqインフォメーションセンター]→[Diagnostics for Windows]の順にクリックします。または、[コントロール パネル]で[Diagnostics for Windows]アイコンを選択することもできます。
 - ❑ Windows 2000 Professionalをお使いの場合 : [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[Diagnostics for Windows]の順に選択します。
 - ❑ Windows XPをお使いの場合 : [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[Diagnostics for Windows]の順に選択します。

ハードウェアとソフトウェアの概要が画面に表示されます。アイコンの列の下に、[概要]、[テスト]、[ステータス]、[ログ]、および[エラー]の5つのタブが表示されます。

2. [テスト]タブをクリックします。または、画面の一番上の[タブ]をクリックして、[テスト]を選択します。
3. 次のオプションの1つを選択します。
 - ❑ クイック テスト : 各デバイスに対して一般的なテストをすばやく実行します。[自動実行]モードが選択されていれば、ユーザの操作は必要ありません。
 - ❑ 完全テスト : 各デバイスに対して詳細なテストを実行します。ユーザは、[対話形式]モードまたは[自動実行]モードを選択できます。
 - ❑ カスタム テスト : ユーザが選択したテストだけを実行します。各デバイスの一覧が表示されるので、テストしたいデバイスのチェックボックスをクリックします。クリックすると、赤いチェック マークがボックス内に表示されます。選択したテストによっては、ユーザの操作が必要なものもあります。



すべてのサブシステムをテストする場合は、管理者としてログインする必要があります。管理者としてログインしなかった場合は、テストできないサブシステムがあります。サブシステムをテストできない場合は、[テスト]ウィンドウ内で該当のサブシステム名の下にエラー メッセージが表示されるか、選択できない影付きのチェック ボックスが表示されます。

4. **[対話形式]**または**[自動実行]**モードを選択します。**[対話形式]**を選択すると、テストを行っている間にダイアログ ボックスが表示されるので、メッセージに従って入力する必要があります。**[自動実行]**を選択した場合でも、テストによっては対話が要求され、エラー メッセージが表示されたり、テストが中断されたりすることがあります。
 - ☐ 対話形式では、デバイスの診断テストの手順を最大限に管理できません。テストにパスしているかどうかは自分で判断します。また、デバイスの取り付けまたは取り外しを求める画面が表示されることがあります。
 - ☐ 自動実行では、入力画面は表示されません。エラーが発見された場合、診断テストの完了時に表示されます。
5. ウィンドウの下部にある**[テスト開始]**ボタンをクリックします。テストの進行状況とテスト結果を示すテスト ステータスが表示されます。テストをさらに詳しく表示するには、**[ログ]**タブをクリックします。または、画面の一番上の**[タブ]**をクリックし、**[ログ]**を選択します。
6. テスト レポートを表示するには、以下のタブを選択します。
 - ☐ **[ステータス]**タブには、現在の診断セッションの間に実行、合格、失敗した診断テストの要約が表示されます。
 - ☐ **[ログ]**タブには、コンピュータで実行する診断テスト、各診断テストの実行済回数、各診断テストで発見されたエラーの数、各診断テストの実行時間の合計の一覧が表示されます。
 - ☐ **[エラー]**タブには、コンピュータで見つかったすべてのエラーとエラー コードの一覧が表示されます。
7. テスト レポートを保存するには、次の操作を行います。
 - ☐ **[ログ]**タブのレポートを保存するには、**[ログ]**タブで**[保存]**ボタンをクリックします。
 - ☐ **[エラー]**タブのレポートを保存するには、**[エラー]**タブで**[保存]**ボタンをクリックします。
8. テスト レポートを印刷するには、次の操作を行います。
 - ☐ レポートが**[ログ]**タブに表示されている場合は、**[保存]**ボタンをクリックして保存してからファイルを印刷します。
 - ☐ レポートが**[エラー]**タブに表示されている場合は、**[エラー]**タブの**[印刷]**ボタンをクリックします。

9. エラーとなった場合、[エラー]タブをクリックすると、エラーの詳しい原因と対処方法が表示されます。この対処方法に従って、ユーザ自身で問題を解決できる場合があります。
10. [印刷]をクリックするか、またはエラーの状況をファイルに保存しておいてください。HP製品販売店またはサポート窓口に問い合わせる際に、必要となることがあります。
11. [ファイル]メニューから[終了]を選択して[Diagnosics for Windows]ユーティリティを終了します。

[Configuration Record]ユーティリティ

[Configuration Record]ユーティリティは、他のマネジメント ツールと同様の、Windowsベースの情報収集ツールです。このユーティリティは、さまざまなサブシステムからソフトウェアとハードウェアの重要な情報を集めて、コンピュータの全体像を表示します。また、自動的にコンフィギュレーションの変更を認識し、比較を行って、コンピュータのコンフィギュレーション情報の履歴を保持することができます。この情報は、複数のセッションの履歴として保存されます。

このユーティリティを使用すると、コンピュータをオフラインにすることなく問題を解決できるので、作業を効率的に行うことができます。収集された情報は、システムのトラブルシューティングに役立ちます。また、システムのコンフィギュレーション情報をすばやく、かつ簡単に確認することによって、問題解決のプロセスを簡素化します。

[Configuration Record]は、ハードウェアとオペレーティング システム ソフトウェアについての情報を自動的に収集し、システムの全体像を表示します。このユーティリティで、ROM、資産タグ、プロセッサ、物理デバイス、PCI デバイス、メモリ、ビデオ グラフィックス、オペレーティング システムのバージョン番号、オペレーティング システムのパラメータ、およびオペレーティング システムの起動ファイルについての情報が収集され、表示されます。オリジナルの Base.log ファイルが cpqdiags ディレクトリ内にある場合は、分割ウィンドウ内で Now.log ファイルの隣にこの Base.log ファイルが表示され、2つのログの違いが赤色で表示されます。

[Configuration Record]ユーティリティのインストール

[Configuration Record]は[Diagnostics for Windows]に含まれています。

[Diagnostics for Windows]をアップグレードすると、同時に[Configuration Record]もアップグレードされます。

[Configuration Record]ユーティリティの実行

次の手順で、このユーティリティを実行します。

1. [スタート]→[Compaqインフォメーション センター]→[Configuration Record]の順にクリックします。または、[コントロール パネル]で[Configuration Record]アイコンを選択することもできます。
 - ❑ Windows 2000 Professionalをお使いの場合 : [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[Configuration Record]の順に選択します。
 - ❑ Windows XPをお使いの場合 : [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[Configuration Record]の順に選択します。



[Configuration Record]ユーティリティには、[差分のみ表示]と[全てを表示]の2つの表示オプションがあります。デフォルトの表示は[差分のみ表示]です。すべてのテキストは、違いを示すために赤色で表示されます。[全てを表示]に切り替えると、システムの全体像が表示されます。

2. デフォルトの表示は、[差分のみ表示]です。[Configuration Record]ユーティリティによって収集されたすべての情報を表示する場合は、ウィンドウの一番上の[表示]をクリックし、[全てを表示]を選択します。または、[全て表示]アイコンをクリックします。
3. 左または右のウィンドウの情報を保存する場合は、[ファイル]→[保存]の順に選択した後、[左側のファイル]または[右側のファイル]を選択します。



コンピュータのコンフィギュレーションを定期的に保存しておくと、コンフィギュレーションの履歴を維持できるようになります。デバッグが必要なシステムの問題が発生したときには、この履歴がカスタムセンターでサポートを受ける場合に役に立つことがあります。

4. [ファイル]メニューから[終了]を選択して[Configuration Record]ユーティリティを終了します。

[Remote Diagnostics Enabling Agent]ユーティリティ

このユーティリティは、現場に出向いてコンピュータをオフラインにしないくてもすばやく問題を解決でき、コンピュータの可用性を最大限に高めるために開発されました。このユーティリティで入手した情報はコンピュータのトラブルを解決する際に役に立ち、問題がすばやく簡単に確認できるので、サービスのプロセスが合理化されます。



[Remote Diagnostics Enabling Agent]は、[Diagnostics for Windows]ユーティリティがインストールされている場合에만機能します。

[Remote Diagnostics Enabling Agent]をインストールすると、[Diagnostics for Windows]ユーティリティにWebブラウザ インタフェースが追加されます。このインタフェースによって診断をリモート制御することができ、コンピュータに関する情報をリモート コンピュータからカスタマ センターへ簡単に転送できるようになります。

[Remote Diagnostics Enabling Agent]を使うと、ハードウェアのコンフィギュレーションを把握でき、コンピュータに関する問題をリモート診断することができます。さらに、HP マネジメント エージェントによって示されるあらゆるハードウェア デバイスの問題も識別します。これらのハードウェア デバイスは、[Remote Diagnostics Enabling Agent]によって自動的に選択され、テストされます。

[Remote Diagnostics Enabling Agent]を使用すると、ハードウェアを診断するために必要な時間と労力を削減することができます。カスタマ センターのサポート要員がコンピュータのハードウェア診断ツールを直接利用できるようになります。[Remote Diagnostics Enabling Agent]を使用すると、コンピュータのハードウェア デバイスの概要を示し、使いやすく簡単な単一のツールだけでハードウェアの問題を割り出すテストを行うことができます。この方法によって、問題を解決する時間が最小限に抑えられ、また、管理上のリソースも最低限で済みます。コンピュータのハードウェアに関する問題が発生したときに、問題を解決するためにサポート要員が現場に出向いたり、電話でユーザと話す時間が少なくなるためです。



[Remote Diagnostics Enabling Agent] は、ほとんどのコンピュータにあらかじめインストールされています。また、<http://www.compaq.com/support/files/>の「マネジメントおよびシステム ソフトウェア」にあるSoftPakをダウンロードして利用できます。

[Remote Diagnostics Enabling Agent]ユーティリティのインストール または更新

インストール済みの[Remote Diagnostics Enabling Agent]を再インストールまたは更新するには、以下の手順に従います。

1. <http://www.compaq.co.jp/support/> にアクセスして、目的の製品をクリックし、ダウンロードをクリックします。
2. 次のウィンドウに「オプション2: カテゴリ別検索」の欄が表示されます。
3. お使いのオペレーティング システムと[マネジメントおよびシステム ソフトウェア]を選択します。
4. 「ソフトウェアの検索」をクリックし、最新のバージョンをダウンロードします。
5. ダウンロードしたファイルを実行します。インストール済みのバージョンを更新する場合は、[修正]または[更新]を選択します。これによって、旧バージョンに新バージョンが上書きされます。

[Remote Diagnostics Enabling Agent]ユーティリティの実行

1. [コントロール パネル]の[Remote Diagnostics]アイコンを選択します。



[Remote Diagnostics Enabling Agent]を使用して、ブラウザのウィンドウ内で[Diagnostic Test]または[Configuration Record]ユーティリティを実行することができます。どちらのユーティリティも、リモートでもローカルでも実行できます。

2. [ファイル] (File) メニューから[終了] (Close) を選択して[Remote Diagnostics]を終了します。

ソフトウェアの保護

ソフトウェアを損失したり破損したときのために、すべてのシステム ソフトウェア、アプリケーション、およびハードディスク ドライブに保存されているファイルのバックアップをとっておいてください。ファイルをバックアップする方法については、オペレーティング システムに付属のマニュアルかバックアップ ユーティリティのマニュアルを参照してください。

ソフトウェアの復元

コンパック リストア キットを使用して、オペレーティング システムとソフトウェアを購入時の初期状態に復元することができます。この機能の使用方法について詳しくは、コンパック リストア キットを参照してください。

診断ユーティリティを使用しない トラブルシューティング

このガイドでは、ドライブ、グラフィックス、メモリ、およびソフトウェアなどの一般的なトラブルについて原因と解決方法を説明します。また、POST（Power-On Self Test、電源投入時のセルフテスト）実行中に表示されるメッセージ（POSTメッセージ）などの、画面に表示される多くのメッセージについても説明します。

POSTメッセージが無効になっていると、POST実行中のシステム メッセージ（メモリ カウント、製品名、エラーではないテキスト メッセージなど）が画面に表示されず、HPのロゴ マークが表示されます。POSTエラーが発生した場合はエラー メッセージが表示されます。POSTメッセージが有効になっていると、POST中のすべてのメッセージが画面に表示されるので、コンピュータの起動処理に多少時間がかかります。POST実行中にPOSTメッセージを無効から有効に切り替えるには、[F10] キーおよび[F12] キー以外のキーを押してください。POSTメッセージの有効/無効の設定を変更するには、コンピュータ セットアップ ユーティリティ（Computer Setup Utilities）を使用します。

コンピュータがオペレーティング システムをロードする時間と、システムをテストする範囲は、選択するPOST Modeによって異なります。

クイック ブート（QuickBoot）を設定すると短時間で起動することができますが、すべてのシステム レベルのテストを実行するわけではありません。メモリ テストなどは実行されません。フル ブート（FullBoot）を設定するとすべてのROMベースのシステム テストを実行するので、完了するまでに時間がかかります。

[x日毎にフル ブート] (Full Boot Every x days) を設定すると1～30日に1回、定期的にフル ブートを実行することができます。このスケジュールを設定するには、コンピュータ セットアップ ユーティリティを使って、再設定してください。



コンピュータ セットアップ ユーティリティについて詳しくは、『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。

問題解決のヒント

コンピュータ本体、モニタ、ソフトウェアにトラブルが起こったときは、まず次のことを確認してください。

- コンピュータ本体とモニタの電源コードが、ACコンセントに正しく差し込まれていますか。
- コンピュータ本体の電源が入っていて、電源ランプが点灯していますか。
- モニタの電源が入っていて、電源ランプが点灯していますか。
- モニタ画面の表示がぼやけているときには、モニタの調節つまみで輝度とコントラストを調整してください。
- 何かキーを押し続けるとビーブ音になりますか。
- すべてのケーブルを正しく接続していますか。ゆるんでいたり、間違ったコネクタに接続していませんか。
- プラグ アンド プレイに対応していない拡張ボードやオプションを取り付けた後にコンピュータを再設定しましたか。詳しくは、「ハードウェアの取り付けに関するトラブルの解決方法」を参照してください。
- 必要なデバイス ドライバが正しくインストールされていますか (プリンタを接続した場合は、そのモデル用のプリンタ ドライバをインストールする必要があります)。
- システムからディスクettenをすべて取り出してからシステムを起動していますか。
- 出荷時とは異なるオペレーティング システムをインストールしている場合は、そのシステムがお使いのシステムでサポートされているか確認してください。

- お使いのシステムに、複数のビデオ ソース（PCI、またはAGPアダプタ）が取り付けられており（内蔵ビデオは一部のモデルのみ）、モニタが1つの場合は、モニタはプライマリVGAアダプタとして選択されたソースのモニタ コネクタに接続する必要があります。起動中は、もう一方のモニタ コネクタは無効になるため、このポートに接続してもモニタは使用できません。どのソースをデフォルトのVGA ソースとするかは、コンピュータ（F10） セットアップで選択できます。



注意：コンピュータがACコンセントに接続されていると、電源が入っていてもシステム ボードには常に電気が流れています。感電やシステムの損傷を防ぐため、コンピュータのカバーを開ける場合は、必ず事前に電源コードをコンセントから抜いてください。



一般的なトラブルの解決方法

この章で説明するような一般的なトラブルは、ご自身で簡単に解決できる場合があります。トラブルが繰り返し発生し、ご自身で解決できない場合、または解決方法の実行に不安がある場合は、サポート窓口にご相談ください。

一般的なトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
本体の電源が入らない	本体がACコンセントに接続されていない	電源コードを、本体とACコンセントにそれぞれ正しく差し込みます
	ACコンセントに電源コードを差し込んでいない	電源コードを、本体とACコンセントにそれぞれ正しく差し込み、ACコンセントに電流が流れていることを確認します
	取り付けた拡張カードに欠陥がある	取り付けた拡張カードを取り外します
	ドライブの電源、または電源ケーブルが正しく接続されていない	ドライブの電源、および電源ケーブルを正しく接続します
	コンピュータ本体の背面にある電圧選択スイッチが正しい電圧（115Vまたは230V）に設定されていない（一部のモデル）	スライド スイッチを正しいAC電圧側に切り替えます（日本国内では、通常115Vを選択します）

一般的なトラブルの解決方法（続き）

トラブル	原因	解決方法
コンピュータがロックされ、電源ボタンを押しても電源が入らない	電源スイッチのソフトウェアによる制御機能が働いていない	コンピュータの電源が切れるまで4秒以上電源ボタンを押し続けます
コンピュータが USB キーボードやマウスに反応しない	コンピュータがスタンバイモードになっている	電源ボタンを押してスタンバイモードから復帰します
 注意：スタンバイモードから復帰するときに、電源ボタンを4秒以上押さないでください。4秒以上押すと、スタンバイモードは失われ、データが損失します。		
日付と時刻が正しく表示されない	RTC（リアルタイムクロック）用バッテリーが寿命に達している（バッテリーの寿命は約3～5年間）  コンピュータを有効な AC 電源に接続すると、RTC バッテリーの寿命が延びます	最初に、Windows 2000、Windows NT、または Windows XP の [コントロール パネル] にあるユーティリティを使って時刻と日付を設定しなおします。それでも問題が解決しない場合は、RTC 用バッテリーを交換します。RTC 用バッテリーの交換方法については、『ハードウェア リファレンス ガイド』を参照してください
1. 1秒間に4回、赤色または黄色に点滅 2. 1秒間に2回、赤色または黄色に点滅した後に、2秒間休止 3. 点滅しない	本体内部の温度が動作範囲を超えていた。ファンの動作が妨げられているか回転していない。または、ヒートシンクが正しくプロセッサに取り付けられていない	1. 本体内部が非常に高温の環境にあります。本体内部への通気を妨げているものを取り除き、本体を冷却してください 2. 本体内部の通気を妨げているものがなく、内部ファンが動作していることを確認します（電源ファン、シャーシファン、プロセッサファンなど） 3. ヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します 4. 問題が解決しない場合は、修理受付窓口にご連絡ください
	本体のカバーまたはアクセスパネルが取り外されているので本体内部の温度が動作範囲を超えていた	本体を冷却した後、本体のカバーまたはアクセスパネルを正しく取り付けなおします
	プロセッサ上の空気の流れを切り換えるためのエアバッフルが必要な場合に、正しく取り付けられていない	『ハードウェア リファレンス ガイド』にある手順に従ってエアバッフルを取り付けなおします
	プロセッサまたはシステムのファンが故障した	プロセッサまたはシステムのファンを交換します（修理受付窓口にご連絡ください）

一般的なトラブルの解決方法（続き）

トラブル	原因	解決方法
コンピュータが断続的に停止する	ネットワーク ドライバがロードされているが、ネットワークに接続されていない	ネットワークに接続します。または、コンピュータ セットアップ ユーティリティか、Windows 2000、Windows NT、またはWindows XPの[コントロール パネル]の[ネットワーク]または[ネットワークとダイヤルアップ接続]あるいは[ネットワークとインターネット接続]を起動して、ネットワーク コントローラを無効にします
本体のカバーまたはアクセス パネルが取り外せない	特定のモデルのコンピュータで、カバー ロック (Cover Lock) がかけられている	コンピュータ セットアップ ユーティリティ (Computer Setup Utilities) を使用して、カバー ロックを解除 (Unlock) します パスワードを忘れてしまった場合など、ロックを解除できない場合は、FailSafeキーを使用してロックを解除してください
十分なパフォーマンスが得られない	プロセッサが高温に達している	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータ周辺の通気が妨げられていないことを確認します 2. ファンが正しく取り付けられ、正常に動作していることを確認します（必要な場合にのみ動作するファンもあります） 3. プロセッサのヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します
テンキーの矢印キーを押しても、カーソルが移動しない	数字入力モードになっている	Num Lockキーを押します。Num Lockランプが消えている時に、テンキーを矢印キーとして使用できます

電源に関するトラブルの解決方法

電源に関するトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
本体の電源が入らない（コンピュータのフロントパネルにある電源ランプが点灯しない）	本体がACコンセントに接続されていない	電源コードを、本体とACコンセントにそれぞれ正しく差し込みます
	ACコンセントに電源コードを差し込んでいない	電源コードを、本体とACコンセントにそれぞれ正しく差し込み、ACコンセントに電流が流れていることを確認します
	電源スイッチがシステムボードに接続されていない	電源スイッチケーブルをシステムボードに接続します
	コンピュータ本体の背面にある電圧選択スイッチが正しい電圧（115Vまたは230V）に設定されていない（一部のモデルのみ）	スライドスイッチを正しいAC電圧側に切り替えます（日本国内では、通常115Vを選択します）
	ACコンセントが壊れている	別の電気機器をコンセントに接続して、コンセントに異常がないかを確認します
電源ランプが2秒間に1回、赤色または黄色に点滅する（電源ランプの色はモデルにより異なります）	電源装置の過負荷またはショートが検出された	電源コードをACコンセントから抜き取ります。内部電源ケーブルをすべてのデバイスから抜き取り、すべてのPCIカードを取り外します。デバイスを一度に1つ取り付けてはコンピュータの電源を入れ、原因を特定します
	ディスクドライブの電源ケーブルが正しく接続されていない	電源ケーブルをディスクドライブに接続する際は、ドライブの4本のピンをすべて電源ケーブルコネクタに接続します
	システムのウォームアップ後に電源装置がシャットダウンした。ファンの故障により過熱状態になっている	電源装置を交換します（修理受付窓口にご連絡ください）
	電源装置内部の故障により電源が入らない	電源装置を交換します（修理受付窓口にご連絡ください）
電源装置がすぐにシャットダウンする	コンピュータ本体の背面にある電圧選択スイッチが正しい電圧（115Vまたは230V）に設定されていない（一部のモデル）	スライドスイッチを正しいAC電圧側に切り替えます（日本国内では、通常115Vを選択します）
	電源内部の故障により電源が入らない	電源装置を交換します（修理受付窓口にご連絡ください）

電源に関するトラブルの解決方法（続き）

トラブル	原因	解決方法
コンピュータの電源が自動的に切れ、電源ランプが以下のうち1つの状態になる 1. 1秒間に4回、赤色または黄色に点滅 2. 1秒間に2回、赤色または黄色に点滅した後に、2秒間休止 3. 点滅しない	本体内部の温度が動作範囲を超えていた。ファンの動作が妨げられているか回転していない。または、ヒートシンクが正しくプロセッサに取り付けられていない	1. 本体内部が非常に高温の環境にあります。本体内部への通気を妨げているものを取り除き、本体を冷却してください 2. 本体内部への通気を妨げているものがなく、内部ファンが動作していることを確認します（電源ファン、シャーシ ファン、プロセッサ ファンなど） 3. ヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します 4. 問題が解決しない場合は、修理受付窓口にご連絡ください

ディסקет ドライブに関するトラブルの解決方法

ここでは、ディסקетやディסקет ドライブに関する一般的なトラブルとその解決方法について説明します。



ディסקет ドライブを増設するなどの新しいハードウェアを取り付ける場合、コンピュータの再設定が必要となることがあります。詳しくは、この章の「ハードウェアの取り付けに関するトラブルの解決方法」を参照してください。

ディסקет ドライブに関するトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
ドライブ ランプが点灯したままになる	ディסקетが壊れている	Windows 2000 およびWindows XP の場合は、[スタート]メニューから[プログラム] (または[すべてのプログラム]) →[アクセサリ]→[エクスプローラ]を選択し、ドライブ名を右クリックすると表示されるメニューから[プロパティ]を選択して、[ツール]タブの[チェックする]をクリックします Windows NTの場合は、[スタート]メニューから[プログラム]→[Windows NTエクスプローラ]を選択し、ドライブ名を右クリックすると表示されるメニューから[プロパティ]を選択して、[ツール]タブの[チェックする]をクリックします
	ディסקетが正しく挿入されていない	ディסקетを取り出し、再び挿入します
	イジェクト ボタンをきちんと押していない	イジェクト ボタンを押し込みます
	ディסקетのファイルが壊れている	使用中のプログラムをチェックします
ドライブが認識されない	ドライブ ケーブルが正しく接続されていない	本体のカバーを開け、ドライブ ケーブルを正しく接続します
	ドライブ ケーブルが正しく接続されていない	ディסקет ドライブのデータ ケーブルと電源ケーブルを正しく接続します
	リムーバブル ドライブが正しく接続されていない	ドライブを正しく接続します

ディסקレット ドライブに関するトラブルの解決方法（続き）

トラブル	原因	解決方法
ドライブが認識されない（続き）	ドライブロック セキュリティ (DriveLock Security) が有効のときに、システムを稼動させたままリムーバブルハードディスク ドライブを接続しようとした（一部のモデルのみ）	Windows を終了してコンピュータの電源を切ります。マルチベイにドライブをしっかりと挿入します。コンピュータの電源を入れます
ディסקレットに書き込めない	ディסקレットがフォーマットされていない	ディסקレットをフォーマットします
	ディסקレットが書き込み禁止になっている	別のディסקレットを使用するか、書き込み禁止を解除します
	間違ったドライブに書き込もうとしている	書き込み先のドライブ名を確認します
	ディסקレットに十分な空き領域がない	別のディסקレットを使用します
	ディスクレットへの書き込み禁止が設定されている	コンピュータ セットアップ ユーティリティを使って、ストレージ セキュリティ機能を無効にします
	ディスクレットが壊れている	新しいディスクレットに交換します
ディスクレットをフォーマットできない	ディスクレットの指定が誤っている	MS-DOS [®] でディスクレットをフォーマットする際には、ディスクレットの容量を指定しなければならないことがあります。例えば、A ドライブの1.44MBのディスクレットをフォーマットするには、MS-DOSプロンプトで次のように入力します。 FORMAT A: /F:1.44
ディスク操作でエラーが発生した	ディレクトリ 構造またはファイルに問題がある	Windows 2000 およびWindows XP の場合は、[スタート]メニューから[プログラム]（または[すべてのプログラム]）→[アクセサリ]→[エクスプローラ]を選択し、ドライブ名を右クリックすると表示されるメニューから[プロパティ]を選択して、[ツール]タブの[チェックする]をクリックします Windows NTの場合は、[スタート]メニューから[プログラム]→[Windows NTエクスプローラ]を選択し、ドライブ名を右クリックすると表示されるメニューから[プロパティ]を選択して、[ツール]タブの[チェックする]をクリックします

ディסקレット ドライブに関するトラブルの解決方法（続き）

トラブル	原因	解決方法
ディסקレットから読み込めない	ディסקレットがフォーマットされていない	ディスクレットをフォーマットします 1. Windowsエクスプローラで、ディスクレット（A）ドライブを選択します 2. ドライブ名を右クリックし、[フォーマット]を選択します 3. 希望のオプションを選択し、[開始]をクリックしてディスクレットのフォーマットを開始します
	ドライブのタイプとディスクレットのタイプが合っていない	ディスクレットのタイプを調べ、ドライブに合ったディスクレットを使用します
	間違ったドライブから読み込もうとしている	読み込み元のドライブ名を確認します
	ディスクレットが壊れている	新しいディスクレットに交換します
「Invalid system disk」というメッセージが表示された	コンピュータの起動に必要なシステム ファイルが含まれていないディスクレットがドライブに挿入されている	ドライブの動作が停止したら、ディスクレットを取り出し、スペースバーを押します。コンピュータが起動します
	ディスクレットにエラーが発生した	電源ボタンを押してコンピュータを再起動します
「Nonsystem disk/NTLDR missing」というメッセージが表示された	システム ディスクレット以外のディスクレットから起動しようとした	ディスクレットをドライブから取り出すか、または起動可能なディスクレットに入れ替えて、どれかキーを押します
ディスクレットから起動できない	ディスクレットがブート可能でない	ブート可能なディスクレットと交換します
	コンピュータ セットアップ ユーティリティでディスクレットからの起動が無効に設定されている	コンピュータ セットアップ ユーティリティを実行し、[ストレージ]（Storage）→[起動順序]（Boot Order）をクリックして、ディスクレットからの起動を有効に設定します
	コンピュータ セットアップ ユーティリティでリムーバブル メディアからの起動が無効に設定されている	コンピュータ セットアップ ユーティリティを実行し、[ストレージ]（Storage）→[ストレージ オプション]（Storage Options）をクリックして、リムーバブル メディアからの起動を有効に設定します
	ディスクレットの MBR 検証（Diskette MBR Validation）が有効に設定されている	コンピュータ セットアップ ユーティリティを実行し、[ストレージ]（Storage）→[ストレージ オプション]（Storage Options）をクリックして、ディスクレットのMBR検証を無効に設定します

ハードディスク ドライブに関するトラブルの解決方法

ハードディスク ドライブに関するトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
ハードディスク ドライブ エラーが発生した	ハードディスク ドライブに不良セクタまたは障害がある	ユーティリティを使用して不良セクタを特定し、使用しないように設定します。必要に応じて、ハードディスクをフォーマットします
ディスク操作でエラーが発生した	ディレクトリ構造またはファイルに問題がある	Windows 2000 および Windows XP の場合は、[スタート]メニューから[プログラム] (または[すべてのプログラム]) → [アクセサリ] → [エクスプローラ]を選択し、ドライブ名を右クリックすると表示されるメニューから[プロパティ]を選択して、[ツール]タブの[チェックする]をクリックします Windows NTの場合は、[スタート]メニューから[プログラム] → [Windows NT エクスプローラ]を選択し、ドライブ名を右クリックすると表示されるメニューから[プロパティ]を選択して、[ツール]タブの[チェックする]をクリックします
ドライブが認識 (識別) されない	ドライブ ケーブルが正しく接続されていない	ドライブ ケーブルを正しく接続します
	システムが、取り付けられた装置を自動的に認識できない	「ハードウェアの取り付けに関するトラブルの解決方法」にある「取り付けたハードウェアが認識されない」を参照してください。それでも装置が認識されない場合は、コンピュータ セットアップ ユーティリティで装置が一覧に表示されるかどうか調べます。装置が一覧に表示される場合は、ドライバの問題です。一覧に表示されない場合は、装置が故障している可能性があります 新しく取り付けたドライブが認識されない場合は、コンピュータ セットアップ ユーティリティを実行して、[カスタム] (Advanced) → [電源投入時オプション] (Power-On Options) → [POST 遅延時間 (秒単位)] (POST Delay) を選択します
	ドライブ ジャンパの設定が間違っている	ドライブが2台目であり、1台目と同じケーブルに取り付けた場合は、両方のドライブのジャンパが正しく設定されているか確認します
	SCSI IDが間違っている	SCSI IDが重複していないことを確認します

ハードディスク ドライブに関するトラブルの解決方法（続き）

トラブル	原因	解決方法
ドライブが認識（識別）されない （続き）	ドライブのIDE（ATA）コントローラがコンピュータ セットアップ ユーティリティで無効に設定されている	コンピュータ セットアップ ユーティリティを実行し、[ストレージ]（Storage）→[ストレージ オプション]（Storage Options）をクリックして、プライマリおよびセカンダリ IDE（ATA）コントローラを有効に設定します
	電源投入直後のドライブの応答が遅い	コンピュータ セットアップ ユーティリティを実行し、[カスタム]（Advanced）→[電源投入時オプション]（Power-On Options）をクリックして、POST遅延の値を増やします
「Nonsystem disk/NTLDR missing」というメッセージが表示された	起動可能ディスク以外 のディスクから起動しようとした	ディスクをドライブから取り出します
	ハードディスク ドライブから起動しようとしたが、ハードディスクが壊れていた	起動可能なディスクをディスク ドライブに挿入してコンピュータを再起動します ディスク ドライブから起動して[マスター ブート レコード セキュリティ]（Master Boot Record Security）を有効にしてもハードディスク ドライブにアクセスできない場合は、以前保存しておいたMBRイメージを復元してみる方法も考えられます。コンピュータ セットアップ ユーティリティを実行して[セキュリティ]（Security）→[マスター ブート レコードの復元]（Restore Master Boot Record）を選択します （この手順は、一部のモデルには適用できません）
	システム ファイルが存在しないか正しくインストールされていない	起動可能なディスクをディスク ドライブに挿入してコンピュータを再起動します。ハードディスク ドライブのパーティションとフォーマットを確認します。必要に応じて、使用するオペレーティング システムに適したシステム ファイルをインストールします
	コンピュータ セットアップ ユーティリティでハードディスクからの起動が無効に設定されている	コンピュータ セットアップ ユーティリティを実行して[ストレージ]（Storage）の[起動順序]（Boot Order）リストでハードディスクからの起動を有効に設定します

ハードディスク ドライブに関するトラブルの解決方法（続き）

トラブル	原因	解決方法
2台目のUltra ATAハードディスク ドライブの性能が活かされていない	使用しているケーブルのタイプが適切でない	2台目のUltra ATAハードディスク ドライブの接続には、80芯Ultra ATAケーブルを使用します。80芯Ultra ATAケーブルは一部のモデルには付属しています
	低速および高速の両方のUATAデバイスが、同じデータ ケーブルに接続されている	低速のUATAデバイスを、システム ボードのセカンダリIDE（ATA）コントローラに接続されている別のデータ ケーブルにつなぎます
コンピュータが起動しない	ハードディスク ドライブが壊れている	ビープ音とキーボードのLEDを確認します。考えられる原因については、「付録A POST エラー メッセージ」を参照してください 詳細については、サポート窓口にお問い合わせください
コンピュータがロックされる	使用中のプログラムがコマンドに応答しなくなった	通常のWindows終了の順序を実行します。うまくいかない場合は、コンピュータの電源が切れるまで4秒以上電源ボタンを押し続けます。コンピュータを再起動するには、電源ボタンをもう一度押します

モニタに関するトラブルの解決方法

モニタにトラブルが生じたときには、モニタに付属のガイドと、以下の解決方法を参照してください。

モニタに関するトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
モニタ画面に何も表示されない	モニタの電源が入っていない(モニタ ランプが点灯していない)	モニタの電源を入れます(モニタ ランプが点灯するのを確認します)
	モニタ ケーブルが正しく接続されていない	モニタと本体の間のケーブル、およびモニタとACコンセントの間のコードの接続を確認します
	省電力モード(Energy Saver Mode)になっている	どれかキーを押すかマウス ボタンをクリックし、パスワードが設定されている場合はパスワードを入力します
	モニタのRGB(赤、緑、青)スイッチが正しく設定されていない	モニタのRGBスイッチを75Ωに設定し、同期スイッチがある場合にはそのスイッチを「外部」に設定します
	システムROMの障害。システムがブート ブロックROMモードで稼動しています("ピービビビ"とビーブ音を鳴らし警告します)	ROMPaqディスクセットを使用してROMをリフレッシュします。詳しくは、『デスクトップ マネジメントについて』のブート ブロックROMの説明を参照してください
	固定同期モニタを使っているのに、選択した解像度で同調しない	選択した解像度と同じリフレッシュ レートでモニタに表示可能かどうか確認します
	コンピュータがスタンバイモードになっている	電源ボタンを押して、スタンバイ モードから復帰します
 注意: スタンバイ モードから復帰するときに、電源ボタンを4秒以上押さないでください。4秒以上押すと、スタンバイ モードは失われ、データが損失します。	モニタ ケーブルが間違ったコネクタに接続されている	コンピュータに、統合グラフィックス コネクタとAGPカード コネクタの両方が装備されている場合は、モニタ ケーブルをコンピュータ背面の拡張カード領域にあるAGPカード コネクタに接続します
	VGA/BNC 選択スイッチが正しく設定されていない	VGA/BNC選択スイッチを、接続されているケーブルに合わせて設定します
	省電力機能を有効にすると、モニタが正しく動作しない	省電力機能を無効(Disable)に設定します

モニタに関するトラブルの解決方法（続き）

トラブル	原因	解決方法
色が正しく表示されない	ケーブルの接続またはモニタのインピーダンスが正しくない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 同軸ケーブルの場合は、赤、緑、青の同軸ケーブルを対応するモニタ コネクタに接続します 2. モニタのRGBスイッチは75Ωに設定します
表示がぼやける	輝度とコントラストが正しく調節されていない	モニタの輝度とコントラストを調節します
	ケーブルを正しく接続していない	グラフィックス ケーブルの一方の端をモニタ コネクタに、もう一方の端をモニタにしっかり接続します
	モニタ背面のRGBスイッチが正しく設定されていない	モニタのRGBスイッチを75Ωに設定し、同期スイッチがある場合にはそのスイッチを外部に設定します。（モニタに付属のガイドを参照してください）
表示がぼやける、または必要な解像度に設定できない	グラフィックス コントローラをアップグレードした際に、正しいグラフィックス ドライバをインストールしていない	アップグレード キットに付属のディスクセットに入っているビデオ ドライバをインストールします（アップグレード キットは一部のモデルに付属）
	モニタが設定された解像度をサポートしていない	解像度を変更します
画面表示が消える	画面表示を消すユーティリティがインストールされているか、または省電力モード（Energy Saver Mode）に入っている	どれかキーを押すか、またはパスワードを入力し、必要に応じて、画面表示を消すユーティリティまたは省電力モード（Energy Saver Mode）を無効（Disable）に設定します
画像が壊れたり、うねり、乱れ、ちらつきがある	モニタ ケーブルが正しく接続されていない。あるいはモニタが正しく調整されていない	<ol style="list-style-type: none"> 1. モニタ ケーブルを正しく接続します 2. モニタを2つ接続している場合、またはすぐ近くに別のモニタがある場合は、電波障害を起こさないようにモニタを離します 3. 蛍光灯やファンの位置がモニタに近すぎる可能性があります
モニタが過熱した	モニタ内部への通気が悪い	モニタの両脇と背面側に、最低7～8 cmの空間を確保します。モニタの上の通気を妨げるようなものを取り除きます

オーディオに関するトラブルの解決方法

お使いのコンピュータがオーディオ機能を装備しており、オーディオやサウンドに関するトラブルが生じたときには、以下の解決方法を参照してください。

オーディオに関するトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
スピーカまたはヘッドフォンから音がでない	ソフトウェアで設定するスピーカのボリュームが最低になっている	タスクバーの[スピーカ] (音量) アイコンをダブルクリックし、ボリューム スライダを調節して音量を設定します
	コンピュータのフロント パネルにあるCD-ROM ドライブまたはDVD ドライブ用ボリューム コントロールが最低になっている	コンピュータのフロント パネルにあるボリューム コントロールのつまみを回して、音量を調整します
	外付けのスピーカがオフになっている	外付けのスピーカをオンにします
	外付けのスピーカが間違ったコネクタに接続されている	『コンピュータ セットアップ(F10)ユーティリティ ガイド』または、コンピュータ本体およびスピーカに付属の説明書を参照して正しい接続方法を確認します
	オーディオのケーブルが接続されていない	CD-ROM または DVD-ROM ドライブをオーディオ ケーブルでシステム ボードに接続します
	ラインアウト コネクタに接続しているヘッドフォンまたはデバイスが消音 (ミュート) されている	ヘッドフォンまたは外部スピーカの電源を入れるか、ラインアウト コネクタとの接続を取り外します
	音量が消音 (ミュート) されている	<ol style="list-style-type: none"> [コントロール パネル] から、[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス] → [サウンドとオーディオ デバイス] の順に選択します または [コントロール パネル] から、[サウンドとマルチメディア] → [オーディオ] タブ → [音の再生] 項目の [音量] ボタンの順に選択します [ミュート] チェック ボックスをクリックしてオフにします

オーディオに関するトラブルの解決方法（続き）

トラブル	原因	解決方法
スピーカまたはヘッドフォンから音がでない（続き）	コンピュータがスタンバイモードになっている	電源ボタンを押して、スタンバイ モードから復帰します
スピーカまたはヘッドフォンから雑音が聞こえる、または何も聞こえない	コンピュータが適切なスピーカ/ヘッドフォンのタイプまたは出力を検出できない可能性がある。または、アナログ/デジタルの自動認識機能が作動していない	<ol style="list-style-type: none"> 1. ステレオ コネクタ付きのデジタル スピーカを使用中に、システムが自動的にデジタル方式に切り換わるようにしたい場合は、自動認識機能が正しく作動するように、ステレオ/モノラル アダプタを使用します 2. ステレオ/モノラル アダプタが使用できない場合は、マルチメディア デバイスのプロパティを使用して、手動でオーディオ信号をアナログからデジタルに切り換えます 3. ヘッドフォンにモノラル アダプタが付いている場合は、マルチメディア デバイスのプロパティを使用して、システムをアナログ出力に切り換えます <p>オーディオ出力モードを変更する方法について詳しくは、「付録D アナログ/デジタル オーディオ出力の設定」を参照してください</p>



出力モードをデジタルに設定すると、出力モードを自動認識モードまたはアナログ モードに戻すまで、内蔵スピーカと外部アナログ スピーカはオーディオを出力しません。

出力モードをアナログに設定すると、出力モードを自動認識モードまたはデジタル モードに戻すまで、外部デジタル スピーカは機能しません。

詳しくは、「付録D アナログ/デジタル オーディオ出力の設定」を参照してください。

プリンタに関するトラブルの解決方法

プリンタにトラブルが生じたときには、プリンタに付属のガイドと、以下の解決方法を参照してください。

プリンタに関するトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
プリンタが印字しない	プリンタの電源が入っていないか、オンラインの状態になっていない	プリンタの電源を入れ、オンラインにします
	実行中のアプリケーションに合ったプリンタドライバがインストールされていない	<ol style="list-style-type: none"> 1. アプリケーションに合ったプリンタドライバをインストールします 2. MS-DOSコマンド DIR C:¥> [プリンタ ポート] ([プリンタ ポート]にはお使いのプリンタのアドレスを指定してください)を実行して印字してみます プリンタが動作するようであれば、プリンタドライバをロードしなおします
	ネットワーク上でのプリンタの場合、プリンタをネットワークに接続していない	プリンタをネットワークに正しく接続します
プリンタの電源が入らない	プリンタが故障している	プリンタのセルフテストを実行します
	電源コードが正しく接続されていない	電源コードとACコンセントをチェックし、電源コードを接続しなおします
文字化けして印字される	実行中のアプリケーションに合ったプリンタドライバがインストールされていない	アプリケーションに合ったプリンタドライバをインストールします
	プリンタ ケーブルが正しく接続されていない	プリンタ ケーブルを接続しなおします
	プリンタのメモリに負荷がかかった	プリンタの電源を切ってから、電源を再度入れます
プリンタのオンラインのランプが消えた	プリンタが用紙切れになった	用紙トレイに紙を補充し、オンラインにします

キーボードとマウスに関するトラブルの解決方法

キーボードまたはマウスにトラブルが生じたときには、キーボードまたはマウスに付属のガイドと、以下の解決方法を参照してください。

キーボードに関するトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
キーボードからのコマンドおよび入力がコンピュータで認識されない	キーボードコネクタが正しく接続されていない	<ol style="list-style-type: none">1. Windowsデスクトップで、[スタート]をクリックします2. [Windowsの終了]、[シャットダウン]、または[終了オプション]をクリックします。[Windows の終了]、[Windows のシャットダウン]、[コンピュータの電源を切る]ダイアログ ボックスが表示されます3. [電源を切れる状態にする]、[シャットダウン]、または[電源を切る]をクリックします4. シャットダウンが完了したら、キーボードをコンピュータの背面に接続しなおしてからコンピュータを再起動します
	使用中のプログラムがコマンドに応答しなくなった	マウスを使ってコンピュータをシャットダウンしてから再起動します
	キーボードを修理する必要がある	詳しくは、サポート窓口にお問い合わせください
テンキーの矢印キーを押しても、カーソルが移動しない	数字入力モードになっている	Num Lockキーを押します。Num Lockランプが消えている時に、テンキーを矢印キーとして使用できます

マウスに関するトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
マウスが手の動きに反応しないか、動きが緩慢である	マウス コネクタが、コンピュータの背面に正しく接続されていない	<p>キーボードを使用してコンピュータをシャットダウンします</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [Ctrl] キーと [Esc] キーを同時に押すか、Windows Logoキーを押して、[スタート] メニューを表示します 2. 上下矢印キーを使って [Windows の終了]、[シャットダウン]、または[終了オプション]を選択し、[Enter]キーを押します 3. 上下矢印キーを使って[電源を切れる状態にする]、[シャットダウン]、または[電源を切る]を選択し、[Enter]キーを押します 4. シャットダウンが完了したら、マウス コネクタをコンピュータの背面（またはキーボード）に接続してからコンピュータを再起動します
	使用中のプログラムがコマンドに応答しなくなった	キーボードを使ってコンピュータをシャットダウンしてから再起動します
	マウスを修理する必要がある	詳しくは、サポート窓口にお問い合わせください
マウスが垂直方向または水平方向にしか動かない、または動きがぎこちない	マウスのローラー ボールが汚れている	マウスの底面のローラー ボール カバーを取り外し、市販のマウス クリーニング キットでボールを清掃します

ハードウェアの取り付けに関するトラブルの解決方法

ディスク ドライブを増設するなどの新しいハードウェアを取り付ける場合、コンピュータを再設定しなければならないことがあります。プラグ アンド プレイ対応の装置を取り付けた場合、Windows 2000、およびWindows XPは自動的に装置を認識しコンピュータを再設定します。プラグ アンド プレイに対応していない装置を取り付けた場合は、新しいハードウェアの取り付けが完了した後でコンピュータを再設定する必要があります。Windows 2000の場合は[コントロール パネル]の[ハードウェアの追加と削除]アイコンを選択 (Windows XPの場合は[ハードウェアの追加]ウィザードを使用) し、画面の指示に従って操作してください。Windows NT 4.0の場合は、新しいハードウェアを取り付けた後で、ハードウェアに付属のユーティリティを使用してコンピュータを再設定してください。

ハードウェアの取り付けに関するトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
取り付けたハードウェアが認識されない	デバイスが正しく取り付けられていないか、接続されていない	デバイスが正しく取り付けられ、確実に接続されていること、およびコネクタ内でピンが折れ曲がっていないことを確認します
	取り付けたハードウェアのケーブルが正しく接続されていないか、電源コードが外れている	すべてのケーブルと電源コードを正しく接続します
	取り付けた外部装置の電源が入っていない	本体の電源を切ってから、外部装置の電源を入れ、次に本体の電源を再度入れます
	コンピュータの設定情報を変更するようメッセージが表示されたが、実行しなかった	コンピュータを再起動し、画面の指示に従って設定情報を変更します
	プラグ アンド プレイ対応ボードを追加した際にデフォルトのコンフィギュレーションが他の装置と競合したため、自動的に設定されなかった	Windows 2000またはWindows XPの[デバイス マネージャ]を使用して、ボードの自動設定の選択を解除し、リソースの競合を発生させない基本コンフィギュレーションを選択します。または、コンピュータ セットアップ ユーティリティを使用して、リソースの競合の原因となっている装置を設定しなおしたり、無効に設定したりすることもできます



ハードウェアの取り付けに関するトラブルの解決方法（続き）

トラブル	原因	解決方法
コンピュータが起動しない	アップグレード時に正しいメモリ モジュールが使用されなかった。または、メモリ モジュールが正しい場所に取り付けられていない	<ol style="list-style-type: none">1. システムに付属のドキュメントを参照して、正しいメモリ モジュールを使用しているか、および正しく取り付けられているかを確認します2. ビープ音とキーボードの LED を確認します。考えられる原因については、「付録A POSTエラー メッセージ」を参照してください3. 問題が解決しない場合は、サポート窓口にお問い合わせください

ネットワークに関するトラブルの解決方法

ネットワークにトラブルが生じたときには、以下の解決方法を参照してください。

ネットワークに関するトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
リモート ウェイクアップ機能が動作しない	AUIコネクタを使用しているの で、リモート ウェイクアップ機 能を使用できない	RJ45コネクタを使用します
	リモート ウェイクアップ機能が 有効に設定されていない	ネットワーク制御アプリケーションを使っ て、リモートウェイクアップ機能を有効に 設定します。詳しくは、『デスクトップ マ ネジメントについて』を参照してください
ネットワーク ドライバがネッ トワーク コントローラを認識 しない	ネットワーク コントローラが有 効に設定されていない	ネットワークに接続します。または、コン ピュータ セットアップ ユーティリティか、 Windows 2000、Windows NT、または Windows XPの[コントロール パネル]の[ネッ トワーク]または[ネットワークとダイヤル アップ接続]あるいは[ネットワークとイン ターネット接続]を起動して、ネットワーク コントローラを有効にします
	ネットワーク ドライバが正しく ない	ネットワーク コントローラに付属の説明 書を参照して正しいドライバを確認する か、ネットワーク コントローラの製造元の Webサイトなどから最新版のドライバを入 手してインストールします
 ネットワーク 接続状態ランプ が点灯または点滅しない  ネットワーク 通信中は、 ネットワーク状態ランプ が点滅します	正常なネットワーク回線を検出 できない	ネットワーク ケーブル（および変換アダプ タ）を正しく接続します
	ネットワーク コントローラが正 しく設定されていない	ネットワーク制御アプリケーションを使っ て、コントローラの動作を確認します。詳 しくは、『ネットワーク通信の使い方』を参 照してください
	AUIコネクタを使用している	トラブルではありません。AUIコネクタを使 用する場合、2つのネットワーク ステータ ス ランプは動作しません
	ネットワーク ドライバが正しく ロードされていない	ネットワーク ドライバをインストールし なおします。詳しくは、『ネットワーク通信 の使い方』を参照してください

ネットワークに関するトラブルの解決方法（続き）

トラブル	原因	解決方法
ネットワーク接続状態ランプが点灯または点滅しない (続き)	オートセンス機能が正常に動作していない	オートセンス機能が有効になっている場合は、オートセンス機能を無効に設定し、適切な通信モードに設定します。オートセンス機能が無効に設定されていた場合は、オートセンス機能を有効にします。詳しくは、『ネットワーク通信の使い方』を参照してください
拡張ボードを取り付けると、ネットワークコントローラが動かなくなる	ネットワークコントローラの割り込みが、他の拡張ボードの割り込みと衝突している	コンピュータ セットアップ ユーティリティの[カスタム] (Advanced) メニューを使用して拡張ボードのリソースの設定を変更します
	ネットワークドライバがない	拡張ボード用のドライバのインストール時に、誤ってネットワークドライバを消していないか確認します
	ネットワークドライバが破損している	本体に添付されているCDからネットワークドライバを再インストールします。最新版のドライバは、弊社のインターネットWebサイト (www.compaq.co.jp/support/download/index.html) で随時公開しています
	取り付けられた拡張ボードがネットワークカード (NIC) で、内蔵NICと競合する	コンピュータ セットアップ ユーティリティを押して実行するセットアップ ユーティリティで、内蔵NICを無効に設定します
明確な原因がないのに、ネットワークコントローラが動かなくなる	ネットワークドライバが破損している	本体に添付されているCDからネットワークドライバを再インストールします。最新版のドライバは、弊社のインターネットWebサイト (www.compaq.co.jp/support/download/index.html) で随時公開しています
	ケーブルがしっかり接続されていない	ケーブルの一方の端をネットワークコネクタに、もう一方の端を正しい機器にしっかりと接続します
	ネットワークコントローラに欠陥がある	修理受付窓口へご連絡ください
新しいネットワークカードが起動しない	新しいネットワークカードがHPのコンピュータに対応していない	HPのコンピュータに対応するNICを取り付けるか、起動順序を変えて別のデバイスから起動します

ネットワークに関するトラブルの解決方法（続き）

トラブル	原因	解決方法
リモート システム インストール時にネットワーク サーバに接続できない	ネットワーク コントローラの構成が正しく設定されていない	コンピュータ セットアップ ユーティリティ (F10 Setup) を実行してネットワーク デバイス設定を変更します
コンピュータ セットアップ ユーティリティが書き込みのないEPROMを検出した	書き込みのないEPROMがある	修理受付窓口へご連絡ください

プロセッサに関するトラブルの解決方法

プロセッサに関連するトラブルが発生した場合の一般的な原因と解決方法を、以下の表にまとめます。

プロセッサに関するトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
十分なパフォーマンスが得られない	プロセッサが高温に達している	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータ周辺の通気が妨げられていないことを確認します 2. ファンが正しく取り付けられ、正常に動作していることを確認します（必要な場合にのみ動作するファンもあります） 3. プロセッサのヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します
取り付け直後のセカンダリ プロセッサがコンピュータに認識されない	インストール済みのハードウェア アブストラクションレイヤ (HAL) がシングルプロセッサ用HALである	マルチプロセッサ用HALをインストールします。プロセッサ アップグレード オプション キット内にある手順を参照してください

メモリに関するトラブルの解決方法

メモリに関するトラブルが生じたときには、以下の解決方法を参照してください。



注意：コンピュータのモデルによって、ECCメモリと非ECCメモリのどちらがサポートされているかが異なります。非ECCメモリのみをサポートするモデルもあります。ECCメモリをサポートするシステムの場合は、ECCメモリと非ECCメモリを混在させないでください。2種類のメモリを混在させると、USB未対応のキーボード上のNumLockランプが連続して点滅し、システムにスピーカが取り付けられている場合は、短い警告音の後に長い警告音が2回鳴ります。さらに、オペレーティングシステムが起動しません。




その他のメモリに関するトラブルについて詳しくは、『お使いになる前に』の「診断用ランプの解釈」の項目を参照してください。

メモリに関するトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
メモリの増設後、コンピュータが起動しない、または、コンピュータが正常に動作しない	メモリ モジュールのタイプや動作速度などの仕様が適切でない。あるいは、新しいメモリ モジュールが正しく装着されていない	お使いのコンピュータに対応する業界標準のメモリ モジュールに交換します 一部のモデルのコンピュータでは、ECCメモリと非ECCメモリを混在させないでください
	デュアルチャンネルDIMMメモリ システムで、DIMMのペアが同一タイプでない可能性がある	速度、デバイスの数、およびメーカーが同じDIMMをペアで増設する必要があります。DIMMのペアが同一タイプでない場合は、交換してください
「Out of Memory」というメッセージが表示された	メモリが正しく設定されていない	Windows 2000またはWindows NTの[コントロール パネル]にある[システム]アイコンをダブルクリックし、[パフォーマンス]タブ (Windows 2000 の場合、[詳細] タブ→[パフォーマンス オプション]ボタン、Windows XPの場合、[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]→[詳細設定]タブ→[パフォーマンス]領域の[設定ボタン]) でメモリの設定を確認します
	アプリケーションを実行するためのメモリが足りない	アプリケーションに付属のガイドを参照して、必要なメモリ容量を調べ、必要な容量を確保します

メモリに関するトラブルの解決方法（続き）

トラブル	原因	解決方法
POST（電源投入時のセルフテスト）で表示されるメモリ容量が正しくない	メモリ モジュールが正しく取り付けられていない	メモリ モジュールが正しく取り付けられ、適切なモジュールが使用されていることを確認します  4GBシステムの場合、実際のメモリ容量より若干少ない容量が表示されます
操作中にメモリ不足のエラーが発生した	メモリ 常駐 プログラム (TSR) の数が多過ぎる	不必要なメモリ常駐プログラム (TSR) を終了します
	アプリケーションを実行するためのメモリが足りない	アプリケーションに必要なメモリ容量を確認し、必要な容量を確保します
本体の電源は入っているが画像が表示されず、電源ランプが赤色または黄色に点滅している（電源ランプの色はモデルにより異なります）	メモリが正しく取り付けられていないため、システムが起動しない	メモリ モジュールを取り付けなおします

SCSIデバイスに関するトラブルの解決方法

SCSIデバイスにトラブルが生じたときには、以下の解決方法を参照してください。

SCSIデバイスに関するトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
UATA および SCSI ドライブを搭載しているシステムが SCSI ハードディスク ドライブから起動しない	UATA ドライブが取り付けられていて IDE (ATA) コントローラが有効になっている状態で、コンピュータ セットアップ ユーティリティの[ストレージ] (Storage) → [コントローラ 順序] (Controller Order) メニューに表示されるリストで、IDE (ATA) コントローラが SCSI アダプタより上位に表示されている	コンピュータ セットアップ ユーティリティを実行して[ストレージ] (Storage) の[コントローラ 順序] (Controller Order) で内蔵 IDE (ATA) コントローラをリストの最後に移動します
UATA ドライブを搭載していないシステムが SCSI ドライブから起動しない	SCSI ハードディスク ドライブが正しく設定されていない コンピュータ セットアップ ユーティリティでハードディスクからの起動が無効に設定されている	ケーブルの接続やジャンパの設定などを確認します。起動ドライブの SCSI ID 番号は、0 に設定しておく必要があります コンピュータ セットアップ ユーティリティを実行して[ストレージ] (Storage) → [起動 順序] (Boot Order) で、ハードディスク ドライブを有効に設定します
Windows NT 環境で動作している場合、インストールした後に SCSI ハードディスク ドライブが認識されない	Windows NT をインストールする前に SCSI ドライバがシステムにインストールされていない	Windows NT のカスタム セットアップで SCSI ドライバを最初にインストールして、Windows NT をインストールします お使いのシステムに SCSI ドライバをインストールするには、 http://www.compaq.co.jp/support/ を参照してください SCSI ドライバをインストールする方法について詳しくは、「付録 E Windows NT インストール用の SCSI ドライバのインストール」を参照してください

CD-ROMおよびDVDドライブに関するトラブルの解決方法

CD-ROMおよびDVDドライブにトラブルが生じたときには、以下の解決方法を参照してください。

CD-ROMおよびDVDドライブに関するトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
コンピュータがCD-ROMまたはDVDドライブから起動しない	CD-ROMまたはDVD から起動しないように設定されている	コンピュータ セットアップ ユーティリティを実行し、起動可能ドライブの起動順序を設定します。リムーバブル メディアからの起動を有効に設定して、起動順序を確認します
	起動できないCDがドライブ内にある	起動できるCDをドライブに挿入してみます
CD-ROMまたはDVD ドライブが検出されず、ドライバがロードされない	CD-ROM ドライブを正しく接続していない。SCSI ドライブの場合は、接続が正しくないか、ターミネーションが正しくない	CD-ROMまたはDVD ドライブ（オプション）に付属の説明書を参照してください
DVD ドライブで映像が再生されない	映像がお使いの地域の規格外の可能性がある	DVD ドライブに付属の説明書を参照してください
	デコーダ ソフトウェアがインストールされていない	デコーダ ソフトウェアをインストールしてください
	グラフィックス カードがDVD-Video に対応していない	DVD-Videoに対応したグラフィックス カードを使用します
	セカンダリ モニタに映像が再生されない	セカンダリ モニタにDVD-Videoの表示ができるグラフィックス カードを使用します
CDを取り出せない（トレイ式のCD-ROMドライブ）	CDがCD-ROMドライブに正しく挿入されなかった	コンピュータの電源を切り、細い金属製の棒を非常用CD取り出しホールに差し込んで強く押します。トレイをゆっくり完全に引き出して、CDを取り出します
CD-ROM、CD-RW、DVD-ROM、DVD-R/RW ドライブがディスクを読み取れない、または起動に時間がかかる	CDが裏返しになっている	CDのラベル面を上にして挿入しなおします
	再生するメディアの種類（オーディオ、ビデオなど）を判別する必要があるため、DVD-ROMドライブの起動に時間がかかる	再生するメディアの種類が判別されるまで30秒間以上待機します。ディスクが起動されない場合は、他の解決方法を参照してください

CD-ROMおよびDVDドライブに関するトラブルの解決方法（続き）

トラブル	原因	解決方法
CD-ROM、CD-RW、DVD-ROM、DVD-R/RW ドライブがディスクを読み取れない、または起動に時間がかかる（続き）	CDまたはDVDディスクが汚れている	市販のCDクリーニングキットで、CDまたはDVDディスクを掃除します
	システムがCD-ROMまたはDVD-ROMドライブを検出できない	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスマネージャを使用して、目的のデバイスをアンインストールします 2. コンピュータを再起動し、システムがCDまたはDVDドライブを検出するかどうかを確認します
オーディオCDの録音が困難または不可能である	メディアの種類が間違っているか低品質である	<ol style="list-style-type: none"> 1. 低速で録音してみます 2. ドライブに対して正しいメディアを使用していることを確認します 3. 別の種類のメディアを使用してみます。メディアの品質は、メーカーによって大幅に異なります

ソフトウェアに関するトラブルの解決方法

ソフトウェアのトラブルは多くの場合、以下のようなことが原因で発生します。

- アプリケーションが正しくインストールまたは設定されていない。
- アプリケーションを実行するための十分なメモリの空き容量がない。
- アプリケーション間でリソースの競合が発生している。
- 必要なデバイス ドライバがインストールされていない。
- 出荷時とは異なるオペレーティング システムをインストールしている場合に、そのシステムがお使いのシステムでサポートされていない。

必要に応じて[Configuration Record]ユーティリティを実行し、トラブルの原因となっている可能性のあるソフトウェアの変更点を確認します。詳しくは、Documentation Library CDに収録されている『デスクトップ マネジメントについて』を参照してください。

SCSI ハードディスク ドライブを使用してソフトウェアをインストールしたときにトラブルが発生した場合は、以下の表にある解決方法を参照してください。

ソフトウェアに関するトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
Windows NT でSCSI ハードディスク ドライブが適切にインストールされていない	Windows NT をインストールする前にSCSI ドライバがシステムにインストールされていない	Windows NT のカスタム セットアップでSCSI ドライバを最初にインストールして、Windows NT をインストールします お使いのシステムにSCSI ドライバをダウンロードするには、 http://www.compaq.co.jp/support/ を参照してください SCSI ドライバをインストールする方法について詳しくは、「付録E Windows NT インストール用のSCSI ドライバのインストール」を参照してください
コンピュータが起動しない	システム ファイルが壊れている	ビープ音とキーボードのLEDを確認します。考えられる原因については、「付録A POST エラー メッセージ」を参照してください 詳細については、コンパック リストア キットを参照するか、またはサポート窓口にお問い合わせください

ソフトウェアに関するトラブルの解決方法（続き）

トラブル	原因	解決方法
「Illegal Operation has Occurred」というエラーメッセージが表示される	使用中のソフトウェアが、お使いのバージョンのWindowsでマイクロソフトの認可を得ていない	ソフトウェアがお使いのバージョンのWindowsでマイクロソフトの認可を得ているかどうかを確認します（詳しくは、ソフトウェアのパッケージを参照してください）
	コンフィギュレーションファイルが壊れている	可能な場合は、データをすべて保存し、プログラムをすべて終了してからコンピュータを再起動します

カスタマ サポートのご利用について

コンピュータにトラブルが生じた場合は、HP製品販売店またはサポート窓口にお問い合わせください。詳しくは、サポートに関する文書を参照してください。



保守などのためにコンピュータ本体をお預けになる際には、セットアップパスワード（Setup Password）や電源投入時パスワード（Power-On Password）などのパスワードを消去しておいてください。

POSTエラー メッセージ

この付録では、POST（電源投入時のセルフテスト）実行中またはコンピュータの起動時に表示されるエラー コード、エラーメッセージ、およびさまざまなインジケータ ランプや音声コードについてまとめます。POSTの実行中または本体の再起動後にエラー メッセージが表示された場合は、以下のように対処してください。

POST時の数値コードおよびテキスト メッセージ

ここでは、数値コードが関連付けられているPOSTエラーについて説明します。また、POSTの実行中に表示されるテキスト メッセージについても説明します。



以下のコードおよびメッセージは一部のモデルに固有のものであり、すべてのモデルでは表示されません。

数値コードおよびテキスト メッセージ

コード/メッセージ	ビープ音	考えられる原因	対処
101-Opiton ROM Error	1L、1S*	システムROMのチェックサム	不具合のあるROMを交換します（修理受付窓口へご連絡ください）
102-System Board Failure	なし	DMA、タイマなどの障害	CMOSメモリをクリアします 拡張カードを取り外します 必要であれば、システム ボードを交換します（修理受付窓口へご連絡ください）

* Lは長いビープ音（"ピー"）、Sは短いビープ音（"ピ"）

数値コードおよびテキスト メッセージ（続き）

コード/メッセージ	ビープ音	考えられる原因	対処
103-System Board Failure	なし	DMA、タイマなどの障害	<ol style="list-style-type: none"> 1. CMOSメモリをクリアします 2. 拡張カードを取り外します 3. 必要であれば、システム ボードを交換します（修理受付窓口へご連絡ください）
150-SafePost Active	なし	PCI拡張カードから応答がない	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータを再起動します 2. SafePostを無効にします 3. 拡張カードが応答しない場合は、拡張カードを交換します
162-System Options Not Set	2S*	<p>コンピュータの設定（コンフィギュレーション）が不適切</p> <p>RTC（リアル タイム クロック）用バッテリーが寿命に達している（バッテリーの寿命は約3～5年間）</p> <p>コンピュータ セットアップ ユーティリティを実行します</p>	Windows 2000またはWindows XPの[コントロール パネル]にあるユーティリティを使って時刻と日付を設定しなおします。問題が解決しない場合は、RTC用バッテリーを交換します。新しいバッテリーの装着方法について詳しくは、『ハードウェア リファレンス ガイド』を参照してください
163-Time & Date Not Set	2S*	<p>コンフィギュレーション メモリの日付と時刻が無効</p> <p>RTC（リアル タイム クロック）用バッテリーが寿命に達している（バッテリーの寿命は約3～5年間）</p>	<p>Windows 2000またはWindows XPの[コントロール パネル]にあるユーティリティを使って時刻と日付を設定します。問題が解決しない場合は、RTC用バッテリーを交換します。新しいバッテリーの装着方法について詳しくは、『ハードウェア リファレンス ガイド』を参照してください。</p> <p>CMOSジャンパが正しく取り付けられていない。CMOSジャンパ正しく取り付けられていることを確認します</p>

* Lは長いビープ音（"ピー"）、Sは短いビープ音（"ピ"）

数値コードおよびテキスト メッセージ (続き)

コード/メッセージ	ビープ音	考えられる原因	対処
164-Memory Size Error	2S*	メモリに関するコンピュータの設定 (コンフィギュレーション) が不適切	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータ セットアップ ユーティリティまたはWindows のユーティリティを実行します 2. メモリ モジュールが装着されている場合は、正しく装着されていることを確認します 3. 他社製のメモリを追加している場合は、HP製のメモリだけを使ってテストします 4. 正しいメモリ モジュールが装着されていることを確認します
183-Invalid Processor Jumper Setting	2S*	システム ボードのジャンパが正しく設定されていない	システム ボードのジャンパを正しく設定しなおして、プロセッサとバスの速度に合わせます (一部のモデルのみ)
201-Memory Error	なし	システム メモリの障害	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータ セットアップ ユーティリティまたはWindows のユーティリティを実行します 2. メモリ モジュールが正しく装着されていることを確認します 3. 正しいメモリ モジュールが装着されていることを確認します 4. メモリ モジュールを一度に1つずつ取り外して交換し、故障したモジュールを特定します 5. 必要であれば、故障したメモリ モジュールを交換します 6. 必要であれば、システム ボードを交換します (修理受付窓口へご連絡ください)
202-Memory Type Mismatch	なし	メモリ モジュールの間に互換性がない	互換性のあるメモリ モジュールに交換します
207-ECC Corrected Single Bit Errors in Memory Module Socket(s) y,y,...	2S*	シングル ビットECCエラー	<ol style="list-style-type: none"> 1. 正しいメモリ モジュールが装着されていることを確認します 2. 別のメモリ ソケットを使用してみます 3. 問題が解決しない場合は、メモリ モジュールを交換します

* Lは長いビープ音 ("ピー ")、Sは短いビープ音 ("ピ")

数値コードおよびテキスト メッセージ（続き）

コード/メッセージ	ビープ音	考えられる原因	対処
212-Failed Processor	なし	プロセッサを初期化できない	<ol style="list-style-type: none"> 1. プロセッサをソケットに取り付けなおします 2. プロセッサが応答しない場合は、プロセッサを交換します（修理受付窓口へご連絡ください）
213-Incompatible Memory Module in Memory Socket(s) X, X, ...	2S*	エラー メッセージに示されたメモリ ソケットに装着されているメモリ モジュールに重要なSPD情報が設定されていない。またはメモリ モジュールがチップセットに対応していない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 正しいメモリ モジュールが装着されていることを確認します 2. 別のメモリ ソケットを使用してみます 3. SPD 準拠のメモリ モジュールを交換します
214-Memory Device Failure. Error code: XX, Memory Module Socket(s):XX	なし	表示されたソケットに装着されているメモリ デバイスで特定のエラーが発生した	<ol style="list-style-type: none"> 1. 正しいメモリ モジュールが装着されていることを確認します 2. 別のメモリ ソケットを使用してみます 3. 問題が解決しない場合は、メモリ モジュールを交換します
215-RIMM Configuration Error	なし	RIMMが適切に装着されていない	ソケット1からすべてのRIMMソケットには、RIMMまたはCRIMMのいずれかを装着する必要があります。デュアルチャネル システムでは、各チャネルにRIMMが必要です。RIMMの装着について詳しくは、『ハードウェア リファレンス ガイド』を参照してください
301-Keyboard Error	なし	キーボードの障害	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータの電源を切り、キーボードを接続しなおします 2. コネクタが曲がっていないか、またはピンがなくなっていないかを確認します 3. 何かに押されたままになっているキーがないか確認します 4. 必要であれば、キーボードを交換します
303-Keyboard Controller Error	なし	I/Oキーボード コントローラの障害	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータの電源を切り、キーボードを接続しなおします 2. 必要であれば、システム ボードを交換します

* Lは長いビープ音（"ピー"）、Sは短いビープ音（"ピ"）

数値コードおよびテキスト メッセージ (続き)

コード/メッセージ	ビープ音	考えられる原因	対処
304-Keyboard or System Unit Error	なし	キーボードの障害	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータの電源を切り、キーボードを接続しなおします 2. 何かに押されたままになっているキーがないか確認します 3. 必要であれば、キーボードを交換します 4. 必要であれば、システム ボードを交換します (修理受付窓口へご連絡ください)
401-Parallel Port 1 Address Assignment Conflict	2S*	IRQ アドレスが他のデバイスのアドレスと競合している	IRQを設定しなおします
402-Monochrome Adapter Failure	1L、2S*	モノクローム コントローラの障害	必要であればモノクローム コントローラを交換します
403-Parallel Port 3 Address Conflict Detected	2S*	IRQ アドレスが他のデバイスのアドレスと競合している	IRQを設定しなおします
404-Parallel Port Address Conflict Detected	2S*	外部ポートと内部ポートが共にパラレル ポートXに割り当てられている	<ol style="list-style-type: none"> 1. すべてのパラレル ポート拡張カードを取り外します 2. CMOSメモリをクリアします 3. カードを再設定するか、コンピュータ セットアップ ユーティリティを実行します
410-Audio Interrupt Conflict	2S*	IRQ アドレスが他のデバイスのアドレスと競合している	IRQを設定しなおします
411-Network Interface Card Interrupt Conflict	2S*	IRQ アドレスが他のデバイスのアドレスと競合している	IRQを設定しなおします
501-Display Adapter Failure	1L、2S*	グラフィックス コントローラの障害	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必要であれば、グラフィックス カードを挿入しなおします 2. CMOSメモリをクリアします 3. モニタが接続されていて、電源が入っていることを確認します 4. 必要であれば、グラフィックス コントローラを交換します
510-Splash Screen image corrupted	なし	スプラッシュ スクリーン イメージのエラー	最新のRomPacをインストールします

* Lは長いビープ音 ("ピー"), Sは短いビープ音 ("ピ")

数値コードおよびテキスト メッセージ (続き)

コード/メッセージ	ビープ音	考えられる原因	対処
511-CPU, Rear, or Front Fan not detected	なし	ファンが接続されていないか、障害がある	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファン ケーブルを接続しなおします 2. 必要であれば、ファンを交換します
601-Diskette Controller Error	なし	ディスク ドライブ コントローラの障害	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータ セットアップ ユーティリティを実行します 2. ケーブルの接続を確認し、必要であれば交換します 3. CMOSメモリをクリアします 4. 必要であれば、ディスク ドライブを交換します 5. 必要であれば、システム ボードを交換します (修理受付窓口へご連絡ください)
602-Diskette Boot Record Error	なし	ドライブAのディスクが起動できない	ディスクを交換します
605-Diskette Drive Type Error	2S*	コンフィギュレーション メモリの内容とディスク ドライブ タイプが一致しない	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータ セットアップ ユーティリティを実行するか、Windows のユーティリティを実行します 2. 他のディスク ドライブ (テープ ドライブ) を取り外します 3. CMOSメモリをクリアします
610-External Storage Device Failure	なし	外付テープ ドライブが接続されていない	テープ ドライブを接続するか、[F1]キーを押して、テープ ドライブなしの設定にします
611-Primary Floppy Port Address Assignment Conflict	2S*	ディスク ドライブに関するコンフィギュレーションが不適切	コンピュータ セットアップ ユーティリティを実行するか、Window NTのユーティリティまたはWindowsのユーティリティを実行します
612-Secondary Floppy Port Address Assignment Conflict	2S*	ディスク ドライブに関するコンフィギュレーションが不適切	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータ セットアップ ユーティリティを実行します 2. 拡張カードを取り外します 3. CMOSメモリをクリアします
660-Display cache is detected unreliable	なし	内蔵グラフィックス コントローラ ディスプレイ キャッシュが正しく動作せず、無効になる	必要であれば、システム ボードを交換します (修理受付窓口へご連絡ください)

* Lは長いビープ音 ("ピー"), Sは短いビープ音 ("ピ")

数値コードおよびテキスト メッセージ (続き)

コード/メッセージ	ビープ音	考えられる原因	対処
912- Computer Cover Has Been Removed Since Last System Startup	なし		不具合ではありません
914-Hood Lock Coil is not Connected	なし	スマート カバー ロック (Smart Cover Lock) メカニズムがないか、接続されていない	<ol style="list-style-type: none"> 1. フード ロック メカニズムを接続しなおすか、交換します 2. フード ロック メカニズムのケーブルを接続しなおすか、交換します
916-Thermal Sensor from Processor Heatsink is not Connected	なし	プロセッサ ヒートシンクのケーブルがシステム ボードに接続されていない	プロセッサ ヒートシンクのケーブルをシステム ボードに接続しなおすか、交換します
917-Expansion Riser not Detected	なし	ライザ ボードが正しく挿入されていないか、取り付けられていない	ライザ ボードを取り付けるか、挿入しなおして、正しく接続します
1151-Serial Port 1 Address Conflict Detected	2S*	外部ポートと内部ポートが共にCOM1ポートに割り当てられている	<ol style="list-style-type: none"> 1. シリアル ポートの拡張カードを取り外します 2. CMOSメモリをクリアします 3. カードの再設定をするか、コンピュータ セットアップ ユーティリティまたはWindows のユーティリティを実行します
1152- Serial Port 2 Address Conflict Detected	2S*	外部ポートと内部ポートが共にCOM2ポートに割り当てられている	<ol style="list-style-type: none"> 1. シリアル ポートの拡張カードを取り外します 2. CMOSメモリをクリアします 3. カードの再設定をするか、コンピュータ セットアップ ユーティリティまたはWindows のユーティリティを実行します
1155-Serial Port Address Conflict Detected	2S*	外部ポートと内部ポートが同じIRQに割り当てられている	<ol style="list-style-type: none"> 1. シリアル ポートの拡張カードを取り外します 2. CMOSメモリをクリアします 3. カードを再設定するか、コンピュータ セットアップ ユーティリティまたはWindows のユーティリティを実行します

* Lは長いビープ音 ("ピー"), Sは短いビープ音 ("ビ")

数値コードおよびテキスト メッセージ（続き）

コード/メッセージ	ビープ音	考えられる原因	対処
1201-System Audio Address Conflict Detected	2S*	オーディオ デバイスのIRQ アドレスが他のデバイスと競合している	IRQを設定しなおします
1202-MIDI Port Address Conflict Detected	2S*	MIDIデバイスのIRQアドレスが他のデバイスと競合している	IRQを設定しなおします
1203-Game Port Address Conflict Detected	2S*	ゲーム用デバイスのIRQアドレスが他のデバイスと競合している	IRQを設定しなおします
1611-Fan failure detected	なし	シャーシのファンがシステム ボードに接続されていない	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファンを接続しなおします 2. ファンを交換します 3. 必要であれば、システム ボードを交換します（修理受付窓口へご連絡ください）
1720-SMART Hard Drive Detects Imminent Failure	なし	ハードディスク ドライブの障害（一部のハードディスク ドライブには間違ったエラー メッセージを修正するファームウェアのパッチがあります）	<ol style="list-style-type: none"> 1. エラー メッセージが正しいか確認してください ドライブ保護システム（DPS）テストを実行します（可能な場合） 2. 必要であれば、ファームウェアのパッチを利用します 3. ハードディスクドライブのデータのバックアップを作成した後、ハードディスク ドライブを交換します
1721-SMART SCSI Hard Drive Detects Imminent Failure	なし	ハードディスク ドライブの障害（一部のハードディスク ドライブには間違ったエラー メッセージを修正するファームウェアのパッチがあります）	<ol style="list-style-type: none"> 1. エラー メッセージが正しいか確認してください 2. 必要であれば、ファームウェアのパッチを利用します 3. ハードディスクドライブのデータのバックアップを作成した後、ハードディスク ドライブを交換します

* Lは長いビープ音（"ピー"）、Sは短いビープ音（"ピ"）

数値コードおよびテキスト メッセージ (続き)

コード/メッセージ	ビープ音	考えられる原因	対処
1782-Disk Controller Failure	なし	ハードディスク ドライブの回路エラー	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータ セットアップ ユーティリティを実行します 2. CMOSメモリをクリアします 3. ケーブルやジャンパの設定を確認します 4. ハードディスク ドライブの診断プログラムを実行します 5. 増設ドライブの接続を外します 6. 利用できる場合は、Drive Protection System (ドライブ保護システム) テストまたはIDE DPS セルフテストを実行します 7. Windows NT 4.0 Service Pack 4をお使いの場合は、 http://www.compaq.com/support/techpubs/customer_advisories (英語サイト) で変更があるかを調べます 8. 必要であれば、ハードディスク ドライブを交換します 9. 必要であれば、システム ボードを交換します
1800-Temperature Alert	なし	コンピュータ内部の設定温度が限界値を超えた	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータの通気口がふさがれていないか、冷却用ファンが稼働しているか確認します 2. プロセッサの処理速度の設定を確認します 3. 必要であれば、プロセッサを交換します (修理受付窓口へご連絡ください) 4. 必要であれば、システムボードを交換します (修理受付窓口へご連絡ください)
1801	なし	ROM BIOS がプロセッサをサポートしていない	ROM BIOS を適切なバージョンにアップグレードします

* Lは長いビープ音 ("ピー"), Sは短いビープ音 ("ピ")

数値コードおよびテキスト メッセージ（続き）

コード/メッセージ	ビープ音	考えられる原因	対処
1998-Master Boot Record has been lost	1L, 2S*	以前保存したMBRのコピーが壊れている	コンピュータ セットアップ ユーティリティを実行して、現在ブート可能なディスクのMBRを保存します
1999-Master Boot Record has changed	1L*	現在のMBRが以前保存したMBRのコピーと一致しない	注意して取り扱ってください。MBRが、ディスク マネージャ、fdisk、フォーマットなどの通常のディスク メンテナンス作業によって更新された可能性があります。このような状況で以前保存したMBRを交換すると、データが消失するおそれがあります。間違ってMBRを変更したり、ウィルスなどが原因の望ましくない変更の場合は、コンピュータ セットアップ ユーティリティを実行して、以前保存したMBRのコピーを復元します。そうでない場合は、コンピュータ セットアップ ユーティリティを実行して、MBRセキュリティを無効にするか、現在のブート可能なディスクのMBRを保存します
2000-Master Boot Record Hard Drive has changed	1L, 2S*	現在のブート可能なハードディスク ドライブが、MBRセキュリティが有効にされた時に存在したドライブと異なる	コンピュータ セットアップ ユーティリティを実行して、MBRセキュリティを無効にするか、現在のブート可能なディスクのMBRを保存します

* Lは長いビープ音（"ピー"）、Sは短いビープ音（"ピ"）

数値コードおよびテキスト メッセージ (続き)

コード/メッセージ	ビープ音	考えられる原因	対処
Invalid Electronic Serial Number	なし	シリアル番号が不正	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータ セットアップ ユーティリティを実行します。コンピュータ セットアップ ユーティリティのフィールドにデータがある場合、またはシリアル番号が入力できない場合は、SP5572.EXE (SNZERO.EXE) を http://www.compaq.com/ または http://www.compaq.co.jp/ からダウンロードして実行します 2. コンピュータ セットアップ ユーティリティを実行し、[セキュリティ] (Security) メニューにある[システムID] (System ID) で、[アセット タグ]にシリアル番号を入力し、変更を保存します 3. 電源ランプおよびハードディスクドライブ ランプが緑色に点滅
ECC Multiple Bit Error Detected in Memory Module	なし	メモリ配列の64ビット クォードワード内で複数の不良ビットが検出された	メモリ モジュールを交換します
Parity Check 2	なし	パリティ RAMの障害	コンピュータ セットアップ ユーティリティおよび診断ユーティリティを実行します

* Lは長いビープ音 ("ピー"), Sは短いビープ音 ("ピ")

POST時のキーボードやフロント パネルのランプ およびビープ音の診断

ここでは、キーボードのランプ、フロント パネルのランプ、およびPOST実行中に発生するビープ音について説明します。ビープ音には、エラー コードやテキスト メッセージが関連付けられていないものもあります。



USB (Universal Serial Bus) キーボードをお使いの場合、キーボード ランプのエラー コードに適合したビープ音が鳴りますが、キーボードのランプ自体による警告はありません。

POST時のキーボードやフロント パネルのランプおよびビープ音の診断

動作	ビープ音	考えられる原因	対処
Num Lock、Caps Lock、Scroll Lock ランプが断続的に2回点滅	1L、3S*	システムROMの障害。システムがブート ブロックROMモードで稼動している	ROMPaq ディスケットを使用してROMをリフレッシュします。『デスクトップ マネジメントについて』のブート ブロックROMの説明を参照してください
キーボードのCaps Lockランプの点滅	1L、2S*	グラフィックス コントローラが認識されていないか、正しく初期化されていない	<ol style="list-style-type: none"> CMOSメモリをクリアします グラフィックス カードが追加されている場合は、一度取り外してから装着しなおします 必要であれば、ライザ ボードを装着しなおします
キーボードのNum Lockランプの点滅 (一部のモデルのみ)	1S、2L*	システム メモリが認識されていない	<ol style="list-style-type: none"> メモリ モジュールの設定を確認します (『ハードウェア リファレンス ガイド』の関連する説明を参照してください) メモリ モジュールを一度取り外してから装着しなおします このガイドの「メモリに関するトラブルの解決方法」を参照してください



注意:コンピュータのモデルによって、ECCメモリと非ECCメモリのどちらがサポートされているかが異なります。非ECCメモリのみをサポートするモデルもあります。ECCをサポートするシステムの場合は、ECCメモリと非ECCメモリを混在させないでください。さらに、オペレーティング システムが起動しません。

* Lは長いビープ音 ("ピー"), Sは短いビープ音 ("ピ")

POST時のキーボードやフロント パネルのランプおよびビープ音の診断（続き）

動作	ビープ音	考えられる原因	対処
Num Lock ランプの点灯（キーボード）	なし	ブート ブロック リカバリの故障。ROMPaq ディスケットがないか、壊れているか、ドライブの準備ができていない	ROMPaq ディスケットを使用してROMをリフレッシュします。『デスクトップ マネジメントについて』のブート ブロックROMの説明を参照してください
キーボードの Scroll Lockランプの点滅（一部のモデルのみ）	2L、1S*	システム ボードのハードウェア障害（グラフィックス カードの障害よりも先に発生した場合）	システム ボードを交換します（修理受付窓口へご連絡ください）
電源 ランプが緑色に点灯	なし	コンピュータの電源が入っている	不具合ではありません
電源ランプが2秒間隔で緑色に点滅	なし	RAMのサスペンド モード（一部のモデルのみ）か、正常なサスペンド モード	不具合ではありません
電源ランプが無色	なし	ディスクのサスペンド モード（該当する場合）か、電源が入っていない	不具合ではありません
電源ランプが2秒間隔で赤色または黄色に点滅（一部のモデルのみ）	なし	電源装置の過負荷	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源ボタンを押します。電源ランプが緑色になります 2. コンピュータのすべてのAC電源を外します。30秒後に再び電源を入れます 3. コンピュータが正常に稼動するまで、一度に1つつオプションを取り外して、負荷を減らします 4. システム ボードの損傷を確認します 5. 必要であれば、システム ボードを交換します（修理受付窓口へご連絡ください） 6. 必要であれば、電源装置を交換します（修理受付窓口へご連絡ください）

* Lは長いビープ音（"ピー"）、Sは短いビープ音（"ピ"）

POST時のキーボードやフロント パネルのランプおよびビープ音の診断（続き）

動作	ビープ音	考えられる原因	対処
電源ランプおよびハードディスクドライブランプが緑色に点滅	なし	ライザ ボードが認識されていない	<ol style="list-style-type: none"> 1. ライザ ボードを取り外します 2. コネクタの汚れを拭き取ります 3. ライザ ボードを装着しなおします（ライザ ボードを取り外す方法について詳しくは、『ハードウェア リファレンス ガイド』を参照してください）
電源ランプが1秒間隔で赤色に点滅（一部のモデルのみ）	なし	ROMの故障	ROMPaq ディスケットを使用してROMを再度フラッシュします。『デスクトップ マネジメントについて』のROMフラッシュの説明を参照してください
電源ランプが赤色または黄色で点灯	なし	プロセッサが認識されていない	プロセッサをシステム ボードに正しく取り付けなおします
赤色または黄色の電源ランプが以下のいずれかの状態になる <ol style="list-style-type: none"> 1. 1秒間に4回点滅 2. 1秒間に2回点滅した後に2秒間休止 3. 点滅しない 	なし	コンピュータが過熱状態	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必要であればコンピュータのカバーを取り付けます 2. コンピュータの通気口が塞がれていないか、内蔵ファンが稼働しているか確認します

* Lは長いビープ音（"ピー"）、Sは短いビープ音（"ピ"）

パスワードのセキュリティおよびCMOSの再設定

お使いのコンピュータには、パスワードのセキュリティ機能が搭載されています。パスワードの設定は[コンピュータ セットアップ ユーティリティ] (Computer Setup Utilities) メニューから行います。

[コンピュータ セットアップ ユーティリティ]メニューで設定できるセキュリティ用のパスワードにはセットアップ パスワード (Setup Password) と電源投入時パスワード (Power-On Password) の2つがあります。セットアップパスワードだけを設定した場合、コンピュータ セットアップ ユーティリティで設定した情報以外のすべての情報に、他のユーザがアクセスすることができます。電源投入時パスワードだけを設定した場合、コンピュータ セットアップ ユーティリティによる設定情報のほか、コンピュータ上のすべての情報にアクセスするときに、電源投入時パスワードの入力が必要となります。セットアップパスワードと電源投入時パスワードの両方を設定した場合、コンピュータ セットアップ ユーティリティにアクセスするには、セットアップパスワードのみ入力すればアクセスできます。

両方のパスワードが設定されている場合、コンピュータへログインをする際に電源投入時パスワードの代わりにセットアップパスワードを使用することもできます。これはネットワーク管理者には便利な機能です。

パスワードを忘れてしまった場合、パスワードを解除することにより、コンピュータの情報にアクセスすることができます。パスワードを解除するには、次の2つの手段があります。

- パスワードジャンパを再設定する
- CMOSボタンを使用する



注意：CMOSボタンを押すとCMOSの値が工場出荷時の値に再設定され、パスワードや資産番号、ユーザによる設定情報がすべて消去されます。後で必要になったときのために、コンピュータのCMOS設定のバックアップを作成してから再設定するようにしてください。バックアップは、コンピュータセットアップユーティリティを使用して簡単に作成できます。CMOS設定のバックアップについて詳しくは、『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。

パスワード ジャンパの再設定

電源投入時パスワード (Power-On Password) とセットアップ パスワード (Setup Password) の有効/無効の設定および消去は、次の手順に従ってください。

1. 適切な手順でオペレーティング システムを終了してから、コンピュータ本体と外部装置の電源を切り、ACコンセントから電源コードを取り外します。
2. コンピュータ本体からキーボード、モニタなどの外部装置を切り離します。



警告：感電や火傷の危険がありますので、電源コードがACコンセントから抜き取ってあること、本体内部の温度が下がっていることを確認してください。



注意：本体をACコンセントに接続したままにすると、本体の電源を切ってもシステム ボードに電流が流れています。電源コードを抜き取っておかないと、システムが損傷することがあります。



注意：静電気の放電により、コンピュータやオプションの電子部品が破損することがあります。以下の手順を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。詳しくは、『コンピュータの取り扱い、規定に関するご注意』を参照してください。

3. コンピュータ本体のカバーまたはアクセラ パネルを取り外します。
4. ヘッドとジャンパを確認します。



多くのシステム ボードでは、ヘッダにE49またはP49のラベルがあります。製品番号144393-101 (スベア製品番号136339-001) のシステム ボードでは、ヘッダにJ7H1のラベルがあります。

5. 製品番号144393-101のシステム ボードの場合、ジャンパをピン1とピン2からピン2とピン3に移し、約60秒間待って、元のピン1とピン2に戻します。
他のシステム ボードの場合、ピン1と2からジャンパを取り外します。ピンを紛失しないようにピン2に取り外したジャンパを戻します。
6. コンピュータ本体のカバーまたはアクセラパネルを取り付けます。
7. 外部装置を接続します。
8. 電源コードをACコンセントに差し込み、電源を入れます。オペレーティング システムが起動します。これで、パスワードは消去され、パスワード機能が無効になります。
9. パスワード機能を有効にするには、手順1から4までを繰り返します。その後、ジャンパをピン1と2に取り付けます。
10. 手順 6 から 8 までを繰り返して、新しいパスワードを設定します。コンピュータ セットアップ ユーティリティの詳細については、『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。

CMOSの消去と再設定

コンピュータのコンフィギュレーション メモリ (CMOS) には、パスワードとコンピュータの構成に関する情報が保存されています。

CMOSボタンの操作手順

1. コンピュータ本体および外部装置の電源を切り、ACコンセントから電源コードを取り外します。
2. コンピュータ本体からキーボード、モニタなどの外部装置を取り外します。



警告：感電や火傷の危険がありますので、電源コードがACコンセントから抜き取ってあること、本体内部の温度が下がっていることを確認してください。



注意：本体をACコンセントに接続したままにすると、本体の電源を切ってもシステム ボードに電流が流れています。電源コードを抜き取っておかないと、システムが損傷することがあります。



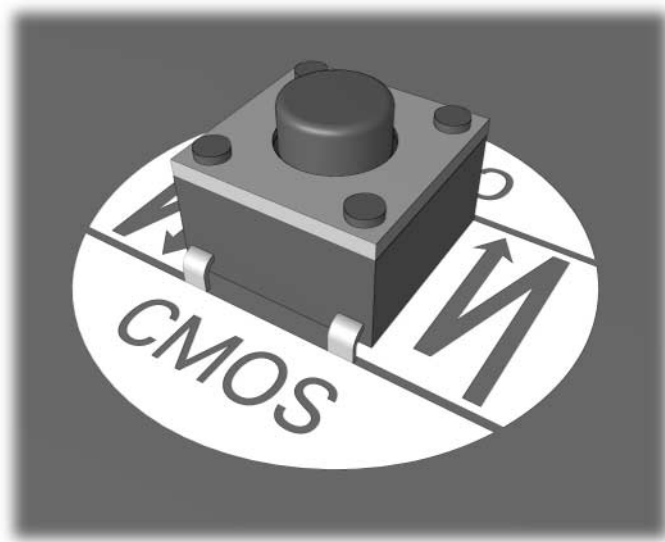
注意：静電気の放電により、コンピュータやオプションの電子部品が破損することがあります。以下の手順を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。詳しくは、『コンピュータの取り扱い、規定に関するご注意』を参照してください。

3. コンピュータ本体のカバーまたはアクセス パネルを取り外します。



注意：CMOSボタンを押すとCMOSの値が工場出荷時の値に再設定され、パスワードや資産番号、ユーザによる設定情報がすべて消去されます。後で必要になったときのために、コンピュータのCMOS設定のバックアップを作成してから再設定するようにしてください。バックアップは、コンピュータセットアップユーティリティを使用して簡単に作成できます。CMOS設定のバックアップについて詳しくは、『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。

4. CMOSボタンを5秒間押し続けます。



CMOSボタン

5. コンピュータ本体のカバーまたはアクセス パネルを取り付けます。
6. 外部装置を接続します。
7. 電源コードをACコンセントに差し込み、電源を入れます。



ここでパスワードや日時を再設定します。その他に特別な設定があれば、それもここで再設定します。

パスワードの再設定の方法については、『デスクトップ マネジメント について』を参照してください。コンピュータ セットアップ ユーティリティ については詳しくは、『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。

コンピュータ セットアップ ユーティリティを使用したCMOSの再設定

CMOSを再設定するには、まず、[コンピュータ セットアップ ユーティリティ] (Computer Setup Utilities) メニューを開きます。

"F10=Setup"メッセージが画面の右下に表示されたら、[F10]キーを押します。必要であれば、[Enter]キーを押すと、タイトル画面をスキップできます。



画面右下に"F10=Setup"と表示されている間に[F10]キーを押せなかったときは、コンピュータを再起動して操作をやりなおしてください。

[コンピュータ セットアップ ユーティリティ]メニューから、5つのボタン([ファイル] (File)、[ストレージ] (Storage)、[セキュリティ] (Security)、[電源] (Power)、[カスタム] (Advanced))が選択できます。

CMOSを工場出荷時の値に再設定するには、日時を設定し、矢印キーまたは[Tab]キーを使用して[ファイル] (File)、[デフォルト値に設定して終了] (Set Defaults and Exit) の順に選択します。この操作で、ブートシーケンスやその他の工場出荷時の設定を含むソフトウェアの設定値がリセットされます。ただし、ハードウェアの再検出は強制されません。

パスワードの再設定の方法については、『デスクトップ マネジメント について』を参照してください。コンピュータ セットアップ ユーティリティ については、『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。

ドライブ保護システム (DPS)

ドライブ保護システム (DPS) は、一部のコンピュータのハードディスク ドライブに組み込まれている診断ツールです。DPSを使用して、ハードディスク ドライブの交換時に発生する問題を診断します。

コンピュータにハードディスク ドライブを取り付ける際にDPSテストを実行し、主要な情報をハードディスク ドライブに書き込みます。この情報は半永久的に記録されます。DPSを実行するたびに、テストの結果がハードディスク ドライブに書き込まれます。弊社ではこの情報を使用して問題の原因を診断します。

DPSを実行しても、ハードディスク ドライブに入っているプログラムやデータには影響を与えません。DPSはハードディスク ドライブのファームウェアに含まれているので、オペレーティング システムが起動できない場合でも、診断が可能です。テストに要する時間は、ハードディスク ドライブのメーカーやハードディスク ドライブのサイズによって異なりますが、1ギガバイト当たり約2分かかります。

ハードディスク ドライブに問題があると判断したときに、DPSを実行してください。ただし、"SMART Hard Drive Detect Imminent Failure"というメッセージが表示された場合、これは重大な障害があるという意味なので、DPSを実行する必要はありません。この場合は、ハードディスクの情報をバックアップして、修理受付窓口に連絡し、ハードディスクの交換についてお問い合わせください。

[Diagnostics for Windows]ユーティリティからDPSにアクセスする

次の手順に従って、[Diagnostics for Windows]ユーティリティから DPS にアクセスします。

1. コンピュータの電源を入れ、[マイ コンピュータ]→[コントロール パネル]→[Diagnostics for Windows]の順に選択します。Diagnostics ユーティリティには[概要]タブ、[テスト]タブ、[ステータス]タブ、[ログ]タブ、[エラー]タブがあります。
2. [テスト]→[テスト タイプ]の順に選択します。テスト タイプには3つのオプション (クイック テスト、完全テスト、カスタム テスト) があります。
3. [カスタム テスト]を選択します。テストモードには、[対話形式]と[自動実行]モードがあります。
4. [対話形式]→[記憶装置]→[ハードディスク]の順に選択します。
5. ここでテスト対象のドライブを選択し、[ドライブ保護システム テスト]から[テスト開始]をクリックします。

テストが終了すると、テスト結果が表示されます。

- テストは成功しました。完了コードは0。
- テストは異常終了しました。完了コードは1か2。
- テストに失敗しました。ドライブの交換が必要です。完了コードは3から14までのいずれか。

テストに失敗した場合は、修理受付窓口の問題の処置方法についてお問い合わせください。その際、テストの完了コードをお知らせください。

コンピュータ セットアップ ユーティリティからDPSにアクセスする

コンピュータが正常に起動できなかった場合、次の手順に従って、コンピュータ セットアップ ユーティリティを使用してDPSプログラムにアクセスします。

1. コンピュータの電源を入れるか、またはコンピュータを再起動します。
2. 画面の右下に"F10 Setup"と表示されたら、[F10]キーを押します。



画面右下に"F10=Setup"と表示されている間に[F10]キーを押せなかったときは、コンピュータを再起動して操作をやりなおしてください。

[コンピュータ セットアップ ユーティリティ]メニューから、5つのボタン([ファイル] (File)、[ストレージ] (Storage)、[セキュリティ] (Security)、[電源] (Power)、[カスタム] (Advanced))が選択できます。

3. [ストレージ] (Storage)、[IDE DPSセルフテスト] (IDE DPS Self-Test)の順にクリックします。取り付けられているDPS対応のハードディスク ドライブが画面に表示されます。



DPS対応のハードディスク ドライブがコンピュータに取り付けられていない場合、[IDE DPSセルフテスト] (IDE DPS Self-Test) オプションは画面に表示されません。

4. テスト対象のハードディスク ドライブを選択します。その後は、画面に表示されるメッセージに従ってテストを進めてください。

テストが終了すると、テスト結果が表示されます。

- テストは成功しました。完了コードは0。
- テストは異常終了しました。完了コードは1または2。
- テストに失敗しました。ドライブの交換が必要です。完了コードは3から14までのいずれか。

テストに失敗した場合は、修理受付窓口の問題の処置方法についてお問い合わせください。その際、テストの完了コードをお知らせください。

アナログ/デジタル オーディオ出力の設定

コンピュータまたはワークステーションの一部のモデルは、アナログまたはデジタルの外部スピーカをサポートする統合オーディオ ソリューションを提供します。このようなシステムでは、スピーカのタイプを自動的に認識し、適切な信号を出力することができます。アナログとデジタル間の切り換え、および自動認識機能の変更を手動で行うには、お使いのオペレーティング システムに対応する以下の手順に従ってください。



出力モードをデジタルに設定すると、出力モードを自動認識モードまたはアナログ モードに戻すまで、内蔵スピーカと外部アナログ スピーカは機能しなくなります。出力モードをアナログに設定すると、出力モードを自動認識モードまたはデジタル モードに戻すまで、外部デジタル スピーカは機能しなくなります。

Microsoft Windows 2000をお使いの場合

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の順にクリックし、[システム] アイコンをダブルクリックして、[システムのプロパティ] パネルを表示します。
2. [ハードウェア]タブ→[デバイス マネージャ] ボタンの順に選択します。
3. [サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ]の左の"+" 記号をクリックして展開します。
4. 目的のオーディオ デバイスをダブルクリックしてプロパティのパネルを開きます。
5. [リソース]タブの[リソースの設定]領域で、[設定]を希望の設定値に変更します。
6. [OK]ボタンをクリックしてプロパティのパネルを閉じます。
7. [システムのプロパティ] パネルを閉じます。
8. [コントロール パネル]を閉じます。

Microsoft Windows NT 4.0をお使いの場合

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の順にクリックし、[マルチメディア]アイコンをダブルクリックして[マルチメディアのプロパティ]パネルを表示します。
2. パネルの一番上の[デバイス]タブを選択します。
3. [オーディオ デバイス]の左の "+" 記号をクリックして展開します。
4. 目的のオーディオ デバイスをクリックして、ハイライト表示します。
5. [プロパティ]をクリックして[プロパティ]パネルを開き、[設定]をクリックします。
6. [割り込み]を希望の設定値に変更します。
7. [OK]ボタンをクリックしてプロパティのパネルを閉じます。
8. [マルチメディアのプロパティ]パネルを閉じます。
9. [コントロール パネル]を閉じます。

Microsoft Windows XPをお使いの場合

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]→[サウンドとオーディオ デバイス]アイコンの順にクリックします。
2. [ハードウェア]タブをクリックします。
3. 目的のオーディオ デバイスをハイライト表示します。
4. [プロパティ]をクリックしてデバイスのプロパティ パネルを開きます。
5. [プロパティ]タブをクリックします。
6. [オーディオ デバイス]の左の "+" 記号をクリックして展開します。
7. 目的のドライバをクリックしてハイライト表示します。
8. [プロパティ]をクリックします。
9. [設定]をクリックします。
10. [出力モード]を希望の設定値に変更します。
11. [OK]ボタンをクリックしてプロパティのパネルを閉じます。
12. [コントロール パネル]を閉じます。

Windows NTインストール用のSCSIドライバのインストール

この付録の情報は、ワークステーションにのみ適用されます。



以下の情報は、プリインストールされているソフトウェアの初期設定を行っている場合や、付属のコンパック リストア CDまたはRestore Plus! CDからプリインストール イメージを復元している場合は適用されません。

お使いのワークステーションにSCSIハードディスク ドライブがインストールされている場合に、Microsoft Windows NTを市販のMicrosoft Windows NT Workstation CDから、または直接Compaqオペレーティング システムCDからインストールするときは、以下の手順に従う必要があります。

セカンダリ システム上で、以下の操作を行います。

1. 以下のWebサイトにアクセスします。
<http://www.compaq.com/support/files/workstations/jp/index.html>
2. 「コンピュータの情報」で、お使いのワークステーション モデルと [Microsoft Windows NT 4.0]を選択し、[Go]をクリックします。
3. 「記憶装置」で、お使いのシステムに付属の SCSI コントローラ用のファミリ マネージャセット ドライバを選択します。どのコントローラが付属しているかがわからない場合は、以下の弊社の Webサイトを参照してください。
<http://www.compaq.com/products/quickspecs/productbulletin.html>
(英語サイト)
4. SoftPaqを一時ディレクトリにダウンロードして実行し、必要なSCSIドライバが含まれているディスクットを作成します。

プライマリ システム上で、以下の操作を行います。

1. CD-ROMドライブにWindows NTのCDを挿入して、システムを起動します。
2. "Setup is inspecting your computer's hardware configuration"というメッセージが表示されたら、[F6]キーを押します。使用するSCSIドライバを要求するメッセージが表示されます。
3. 使用するドライバが含まれているディスクセットを挿入します。メッセージが表示されたら、リストから[S]を選択して増設デバイスを指定します。
4. リストから[Other]を選択します。メッセージが表示されたら、使用するSCSIコントローラを選択します。
5. [Enter]キーを押してインストールを続行します。

ドライバのインストールが終了したら、SCSI ハードディスク ドライブにWindows NT をインストールします。最新のサービス パックを必ずインストールするようにしてください。



詳細については、以下のWebサイトを参照してください。
<http://www.compaq.com/support/product-resources/workstations/index.html>
(英語サイト)

お使いのワークステーション モデルをクリックし、「困ったときにお読みください」で問題に関連した項目を調べてください。

索引

C		
CD-ROMおよびDVDドライブ	2-29	
CD-ROMおよびDVDドライブに関するトラブルの解決方法	2-29	
CMOS		
消去と再設定	B-2	
バックアップ	B-2, B-4	
CMOSボタン	B-1	
[Configuratioin Record]ユーティリティ		
インストール	1-10	
概要	1-9	
実行	1-10	
D		
[Diagnostics for Windows]ユーティリティ		
インストール	1-2	
概要	1-1	
検出	1-2	
ツールバー	1-5	
テストの実行	1-7	
メニューバー	1-5	
Drive Protection System (DPS)		
アクセス	C-2	
概要	C-1	
M		
MIDIポート	A-8	
P		
POST		
エラー コード	A-1	
エラー メッセージ	A-1	
R		
Remote Diagnostics Enabling Agent		
インストール	1-12	
概要	1-11	
実行	1-12	
RTC用バッテリー	A-2	
S		
SCSI		
デバイスに関するトラブルの解決方法	2-28	
ドライバのインストール	E-1	
SMARTハードディスク ドライブ	A-8	
あ		
一般的なトラブルの解決方法	2-3	
オーディオに関するトラブルの解決方法	2-16	
オプティカル ドライブに関するトラブルの解決方法	2-29	
か		
解除		
CMOS	B-1	
パスワード ジャンパ	B-1	
カスタマー サポート	2-32	
キーボード		
エラー コード	A-4	
テスト	2-2	
トラブルの解決方法	2-19	
クイック ブート	2-1	
ゲーム用ポート	A-8	
コンピュータ		
停止	2-5	
電源が入らない	2-6	
コンピュータ内部の温度	A-9	
コンピュータのカバー	A-7	
さ		
再設定		
CMOS	B-1	
パスワード ジャンパ	B-1	
システム ボード、エラー コード	A-1	
ジャンパの設定	2-11	
シリアル ポート	A-7	
ソフトウェアに関するトラブルの解決方法	2-31	
ソフトウェアの復元および保護	1-13	
た		
ツールバー	1-5	
ディスクетт ドライブ	A-6	
ディスクетт ドライブに関するトラブルの解決方法		
方法	2-8	
電源に関するトラブルの解決方法	2-6	

ドライブ、SCSIのインストール	E-1	パラレル ポート	A-5
ドライブ保護システム (DPS)	C-1	日付と時刻の表示	2-4
トラブル	2-2	ブートの選択	
トラブルの解決方法		クイック ブート	2-1
CD-ROMおよびDVDドライブ	2-29	フル ブート	2-1, 2-2
SCSIデバイス	2-28	プリンタに関するトラブルの解決方法	2-18
一般的なトラブル	2-3	フル ブート	2-1
オーディオ	2-16	プロセッサに関するエラー コード	A-4, A-7
オプティカル ドライブ	2-29	ポインティング デバイスに関するトラブル	2-19
キーボード	2-19	ま	
キーボードとマウス	2-19	マウスに関するトラブル	2-19
ソフトウェア	2-31	メモリ	
ディスクレット ドライブ	2-8	エラー コード	A-3, A-4
電源	2-6	トラブルの解決方法	2-26
ネットワーク	2-23	メモリ エラー	A-3
ハードウェアの取り付け	2-21	モニタ	
ハードディスク ドライブ	2-11	過熱	2-15
プリンタ	2-18	接続の確認	2-3
ポインティング デバイス	2-19	非表示	2-15
マウス	2-19, 2-20	表示がぼやける	2-15
メモリ	2-26	表示されない	2-14
モニタ	2-14	モニタに関するトラブルの解決方法	2-14
な		問題解決のヒント	2-2
ネットワークに関するトラブルの解決方法	2-23	ら	
は		ランプ	2-4, 2-6, 2-27
ハードウェアの取り付けに関するトラブルの解決方法	2-21	Caps Lock、Num Lock、およびScroll Lockランプの点滅	A-12
ハードディスク ドライブに関するトラブルの解決方法	2-11	Caps Lockランプの点滅	A-12
ハードディスク ドライブの障害	A-9	Num Lockランプの点滅	A-12
パスワード		Scroll Lockランプの点滅	A-13
解除	B-1	電源ランプおよびハードディスク ドライブランプの点滅	A-14
機能	B-1	電源ランプの点滅	A-14
ジャンパの再設定	B-1	リモート ウェイクアップ機能	2-23
バッテリー、リアル タイム クロック (RTC)	2-4		